

消 防 年 報

平 成 2 2 年 版



筑西広域市町村圏事務組合

消 防 本 部

は し が き

この年報は、筑西広域圏内の消防現勢及び平成22年度中の消防業務に関する諸般の統計を収録したものであり、消防の現況を関係者はもとより、広く一般に紹介するために編集したものです。

なお、消防体制については平成23年4月1日現在をもって編集したものです。これによらないものについては、当該表にそれぞれ記載した年月日により作成したものです。

この資料が、広く防災対策等への取り組みにご活用いただければ幸甚の至りに存じます。

平成23年7月

筑西広域市町村圏事務組合消防本部

表紙：東日本大震災により集結した緊急援助隊各隊。 於 福島県立消防学校

目 次

総 務 関 係

筑西広域市町村圏域の概況 -----	1
筑西広域市町村圏消防の概要 -----	2
消防のあゆみ -----	3
平成22年度消防当初予算 -----	14
平成22年度消防分賦金明細 -----	14
構成3市の面積・人口・世帯数 -----	15
消防車両等配置状況 -----	15
消防本部(署)組織図 -----	16
消防本部事務分掌 -----	17
消防署(分署)事務分掌 -----	19
消防本部・署所別庁舎一覧表 -----	23
職員係別配置状況(1)・(2) -----	24
職員勤務年数 -----	26
職員階級別年齢 -----	27
職員住所 -----	28
職員年度別人員 -----	28
職員任免状況 -----	29
礼状等発送状況 -----	29
表彰関係 -----	29

予 防 関 係

火 災 -----	30
火災概要 -----	31
市別火災種別 -----	32
市別出火件数 -----	32
市別火災状況 -----	33
覚知別出火件数 -----	34
建物火災焼損棟数及び罹災世帯数 -----	34
月別出火件数 -----	35
曜日別出火件数 -----	35
時間別出火件数 -----	36
主な出火原因 -----	37
危 険 物 -----	38
平成22年度危険物取扱者試験合格者数 -----	38
危険物規制対象数 -----	39
市別危険物施設数 -----	40
危険物施設立入検査状況 -----	40
建築確認同意事務処理件数 -----	41
火災予防条例等に基づく届出状況 -----	41
広域圏内中・高層建築物状況 -----	42
防火対象物数及び立入検査状況 -----	43
広報活動実施状況 -----	44
甲種防火管理者資格取得講習 -----	44
甲種防火管理再講習 -----	44
民間防火組織等外郭団体結成状況 -----	45
防火ビデオ・防火フィルム一覧表 -----	46

警 防 関 係

警防分野について	5 0
消防学校等入校状況	5 1
教養訓練の実施状況	5 2
消防水利の現況	5 2
救急業務について	5 3
広域圏内救急件数	5 3
広域圏内覚知別出場件数	5 3
各署別・月別救急出場件数	5 4
年齢区分別・傷病程度別搬送人員	5 5
事故種別・傷病程度別搬送人員	5 5
過去5年間の救急状況	5 6
救助出動状況	5 6
高速道救急件数	5 6
警防ビデオ一覧表	5 7
消防ポンプ自動車等の現勢(1)・(2)	5 8
応援協定一覧表	6 0

通 信 指 令 関 係

通信指令業務について	6 1
通信施設一覧表	6 2
消防無線装置	6 3
通信指令系統図	6 4
市別指令件数	6 5
通報取消状況	6 5
覚知別指令件数	6 6
緊急通報システム構成図	6 7
緊急通報システム利用状況	6 8
気象	6 9

消 防 団 関 係

市別階級別人員	7 1
市別在職年数団員	7 1
市別消防団員年齢	7 2
消防団員階級別年齢状況	7 2

消防本部・署（分署）所在地	7 3
---------------	-----

総 務 関 係

平成23年度消防本部業務重点施策

「安全で安心なまちづくり」

社会経済情勢の変化に伴う消防ニーズに的確に対応するために、地域との連携を積極的に図るとともに、総合整備10か年計画に基づいた消防力の適正な整備を推進し、「市民生活の安全と安心」を確保する。

総務部門

(1) 職員の能力向上と計画的な人材育成の推進

円滑な消防業務と適切な消防サービスを提供するための3部制勤務を検証するとともに、職員の高齢化及び大量退職に伴う消防力の低下を防止するため、職員一人ひとりの能力向上、知識・技術の確実な伝承などによる計画的な人材育成を推進する。

(2) コスト意識の徹底と効率的・効果的な業務の推進

限られた人員や予算などの有効活用を図り、最少の経費で最大の効果が得られるよう常にコスト意識を持って効率的・効果的な業務を推進する。

筑西広域市町村圏域の概況

筑西広域市町村圏は、茨城県の西部に位置し、県都水戸市から40～50km圏、筑波研究学園都市から20～40km圏、首都東京から70～90km圏にあり、結城市、筑西市、桜川市の3市で構成されています。面積は450.97km²、人口は206,464人となっています。そして「水と緑」に囲まれた、豊かな自然環境と雨引観音等をはじめとする優れた歴史と文化が融合した、落ち着いた生活文化空間を形成しています。

去る3月11日に発生した東日本大震災は、観測史上最大級のマグニチュード9.0の巨大地震に加え、広範囲にわたる津波更に原子力発電所における事故など、尊い人命と貴重な財産を一瞬にして奪いました。今後も大規模地震の発生が懸念されており、迅速的確な対応が図れるよう、地域に存在する総合的な防災力の充実に総力をあげて取り組まなければなりません。

しかし、人口の減少や少子高齢化などさまざまな諸問題が取り巻き厳しい状況下ではありますが、住民の負託に応え安心して魅力のあるまちづくりを推進してまいります。



筑西広域市町村圏消防の概要

(平成23年4月1日現在)

- 1 広域消防現勢 昭和48年4月 発足(2市5町1村)
平成17年3月28日 1市3町が合併(2市2町1村)
平成17年10月1日 2町1村が合併(3市)
面積 450.97平方キロメートル
世帯数 68,254戸 人口 206,464人

2 人員・車両数

(1本部・3署・5分署・2出張所)

定数 294人・現員 273人

車両 53台

普通ポンプ車	5台	救助工作車	2台
水槽付ポンプ車	10台	指揮車	1台
化学車	2台	救急車	11台
梯子車	2台	搬送車	1台
水槽車	1台	指令車等	18台

3 消防団等

(1) 消防団(1,684人)3団92分団	(3) 幼年消防クラブ(1,328人)	28団体
(2) 婦人防火クラブ(182人) 5団体	(4) 少年消防クラブ(674人)	18団体

4 消防水利 合計 5,724箇所

(1) 防火水槽(20m ³ 級私設等含む)	1,870箇所
(2) 消火栓(私設含む)	3,741箇所
(3) その他	113箇所

5 火災・救急件数

(平成22年度)

(1) 火災	(2) 救急
合計 107件	出動件数 7,417件
建物 77件	搬送件数 6,755件
車両 10件	搬送人員 6,873人
林野 2件	
その他 18件	

6 防火対象物・危険物施設数

(平成23年3月31日現在)

(1) 防火対象物	5,181棟
(2) 危険物施設	1,170施設

消 防 の あ ゆ み

当広域消防は、筑西広域市町村圏振興計画に基づき、昭和 48 年 4 月に 2 市 5 町 1 村をもって構成されました。平成 17 年 3 月 28 日には、下館市、関城町、明野町、協和町が合併、筑西市が誕生、さらに平成 17 年 10 月 1 日には岩瀬町、真壁町、大和村が合併して桜川市が誕生し、結城市を含めた 3 市の構成になりました。これからも、地域の皆様方が消防行政の利益を平等に享受できるよう、また、日常数多く潜在する危険から地域住民の生活を守る担い手としての責任を果たすため、防災対策の万全を期すべく日夜精進を続けています。

S48. 4. 1	下館市消防本部と結城市消防本部を組合消防本部とし、下館消防署及び川島出張所、並びに結城消防署の 2 署 1 出張所をもって下館地方広域市町村圏事務組合消防本部を発足する。 既設消防力 下館消防署 消防ポンプ自動車 1 台、水槽付消防ポンプ自動車 1 台、化学消防ポンプ自動車 1 台、救急自動車 2 台、査察車 1 台、超短波無線電話基地局 1 局、移動局 6 局、携帯無線機 9 局、 (川島出張所) 消防ポンプ自動車 1 台、超短波無線電話機移動局 1 局 結城消防署 消防ポンプ自動車 1 台、水槽付消防ポンプ自動車 1 台、化学消防ポンプ自動車 1 台、救急自動車 1 台、指令車 1 台、超短波無線電話基地局 1 局、移動局 6 局、携帯無線機 2 局、 職員数 下館消防署 49 名、結城消防署 36 名の計 85 名及び職員 31 名を増員して、総数 116 名となる。 初代 石島 利一 消防長就任
4. 1	関彰商事株式会社より救急自動車の寄贈を受け、下館消防署に配置する。
4. 5	岩瀬消防署及び真壁消防署を開設する。(仮庁舎)
4. 6	指令車 3 台購入、消防本部、岩瀬消防署、真壁消防署に配置する。
5.29	水槽付消防ポンプ自動車 2 台購入、岩瀬消防署、真壁消防署に配置する。
8. 9	(財)日本消防協会より救急自動車の寄贈を受け、真壁消防署に配置する。
8.21	下館地方広域市町村圏事務組合を筑西広域市町村圏事務組合に名称が変更となる。
10.31	電波法の改正に伴い超短波無線電話機 6 局購入、下記のとおり配置する。(更新)
11.15	結城消防署 基地局 1 局、移動局 2 局 下館消防署 移動局 3 局 超短波無線電話機 9 局購入、下記のとおり配置する。 消 防 本 部 移動局 1 局 岩瀬消防署 基地局 1 局、移動局 3 局 真壁消防署 移動局 4 局 (うち可搬型 1 局)

S49. 1.24 3.30 3.31	篠崎源氏より査察車（スズキフロンテ）の寄贈を受け、下館消防署に配置する。 (社)日本自動車工業より救急自動車の寄贈を受け、岩瀬消防署に配置する。 職員 2 名退職、総数 1 1 4 名となる。
S49. 4. 1 5. 7 7.10 7.17 7.29 8. 5 10. 2 10.29 10.31 S50. 3.31	職員 4 6 名採用、総数 1 6 0 名となる。 関城分署、明野分署及び協和分署を開設する。（仮庁舎） 指令車 4 台購入、下館消防署、関城分署、明野分署及び協和分署に配置する。 真壁消防署庁舎（鉄筋コンクリート平家建 445.20 m ² 、総工費 32,111,500 円）が真壁町大字山尾 7 9 3 番地に完成する。 携帯無線機 2 局購入、岩瀬消防署及び真壁消防署に配置する。 超短波無線電話機移動局 4 局購入、下館消防署、関城分署、明野分署及び協和分署に配置する。 岩瀬消防署庁舎（鉄筋コンクリート平家建 442.55 m ² 、総工費 32,419,000 円）が岩瀬町大字岩瀬 3 7 2 番地の 2 に完成する。 水槽付消防ポンプ自動車 4 台購入、関城分署、明野分署、協和分署及び結城南出張所に配置する。 超短波無線電話機移動局 4 局購入、関城分署、明野分署、協和分署及び結城南出張所に配置する。 普通消防ポンプ自動車 2 台購入、岩瀬消防署、真壁消防署に配置する。 超短波無線電話機移動局 2 局購入、岩瀬消防署及び真壁消防署に配置する。 職員 5 名退職、総数 1 5 5 名となる。
S50. 4. 1 4. 7 4.12 7. 4 9. 5 10. 1 S51. 1.20 1.28 3. 2 3. 3 3.16 3.22 3.31	結城南出張所（鉄筋コンクリート平家建 250.80 m ² 、総工費 32,062,000 円）が結城市大字大木 1 1 3 8 番地に完成する。 職員 2 1 名採用、総数 1 7 6 名となる。 関城分署庁舎（鉄筋コンクリート平家建 250.80 m ² 、総工費 31,342,000 円）が関城町大字上野 1 0 4 5 番地の 1 に完成する。 明野分署庁舎（鉄筋コンクリート平家建 248.0 m ² 、総工費 30,943,000 円）が明野町大字倉持 1 1 2 3 番地の 1 に完成する。 協和分署庁舎（鉄筋コンクリート平家建 253.30 m ² 、総工費 30,993,000 円）が協和町大字門井 1 9 7 6 番地の 1 に完成する。 (財)日本消防協会より救急自動車の寄贈を受け、関城分署に配置する。 超短波無線電話機移動局 2 局購入、消防本部及び関城分署に配置する。 職員 2 2 名採用、総数 1 9 8 名となる。 はしご付消防ポンプ自動車を購入、下館消防署に配置する。 超短波無線電話機移動局 1 局購入、下館消防署に配置する。 株式会社森田ポンプより乗用車(トヨタクラウン)の寄贈を受け、消防本部に配置する。 超短波無線電話機 2 局購入、明野分署及び協和分署に配置する。 山之内製薬株式会社より救急自動車の寄贈を受け、協和分署に配置する。 救急自動車を購入、明野分署に配置する。 職員 3 名退職、総数 1 9 5 名となる。

S51. 4. 1	職員 2 名採用、総数 1 9 7 名となる。
5. 1	職員 2 名採用、総数 1 9 9 名となる。下館消防署特別救助隊発足する。
7.22	携帯無線機 5 局購入、岩瀬消防署、真壁消防署、関城分署、明野分署、協和分署各 1 局配置する。
10. 1	職員 2 名採用、総数 2 0 1 名となる。
10.20	水槽付消防ポンプ自動車を購入、結城消防署に配置する。(更新)
S52. 1.24	(社)日本損害保険協会より救急自動車の寄贈を受け結城消防署に配置する。
1.31	職員 1 名退職、総数 2 0 0 名となる。
S52. 7. 1	職員 3 名採用、総数 2 0 3 名となる。
9.12	超短波無線電話機移動局 4 局購入、関城分署（可搬型）明野分署（可搬型）協和分署（可搬型）及び結城消防署に配置する。
12.16	普通消防ポンプ自動車 1 台購入、下館川島出張所に配置する。(更新)
S53. 3.31	職員 2 名退職、総数 2 0 1 名となる。
S53. 4. 1	職員 3 名採用、総数 2 0 4 名となる。
5. 1	初代 石島 利一 消防長退任、総数 2 0 3 名となる。
5. 2	第二代 赤羽 孝夫 消防長就任
8.31	携帯無線機 4 局購入、消防本部 1 局及び結城消防署に 3 局を配置する。
9.30	第二代 赤羽 孝夫 消防長退任、総数 2 0 2 名となる。
10. 1	第三代 濱野 正 消防長事務取扱就任
	職員 2 名採用、総数 2 0 4 名となる。
12.18	山林火災用小型動力ポンプを購入、岩瀬消防署に配置する。
S54. 3.31	職員 4 名退職、総数 2 0 0 名となる。
S54. 6.13	専用電話集録装置 8 局購入、岩瀬消防署 3 台、真壁消防署 2 台、関城分署、明野分署、協和分署に各 1 台配置する。
7.11	広報車（山林パトロール用）2 台購入、岩瀬消防署及び真壁消防署に配置する。
8.18	小型動力ポンプを購入、真壁消防署に配置する。
8.20	加入電話 5 回線増設（岩瀬、真壁消防署及び関城、明野、協和分署に設置）
8.31	携帯無線機 2 局購入、結城消防署に配置する。
9. 1	職員 5 名採用、総数 2 0 5 名となる。
9.20	超短波無線電話機移動局 2 局購入、岩瀬消防署、真壁消防署に配置する。
12. 1	職員 1 名採用、総数 2 0 6 名となる。
S55. 2.18	加入電話 1 回線増設、下館消防署に設置。
3.27	普通消防ポンプ自動車を購入、結城消防署に配置する。(更新)
3.31	職員 3 名退職、総数 2 0 3 名となる。
S55. 4. 1	職員 1 名採用、総数 2 0 4 名となる。
7.29	広報車を購入、下館消防署に配置する。(更新)
	指令車を購入、結城消防署に配置する。(更新)
9.20	加入電話 1 回線増設、結城消防署に設置。
12.20	携帯無線機 6 局購入、消防本部、岩瀬、真壁消防署及び関城、明野、協和分署

S56. 3.31	に各1局を配置する。 職員2名退職、総数202名となる。
S56.10.15	職員2名採用、総数204名となる。
S57. 1.26	普通消防ポンプ自動車を購入、下館消防署に配置する。(更新)
3. 9	携帯無線機4局購入、下館消防署2局、結城消防署、岩瀬消防署に各1局を配置する。
3.17	(社)日本損害保険協会より救急自動車の寄贈を受け、下館消防署に配置する。
3.31	消防無線基地局非常電源を設置する。
S57. 4. 5	下館市危険物安全協会より広報車(トヨタ・カローラ)の寄贈を受け、消防本部に配置する。
7.26	査察車3台購入、結城、岩瀬、真壁の各消防署に配置する。
10. 1	職員5名採用、総数209名となる。
10.22	気象観測装置を下館消防署に設置する。
12.24	指令車を購入、大和分署に配置する。(開設準備期間)
S58. 2.16	超短波無線電話機移動局4局、可搬型移動局1局購入、大和分署、下館消防署1局(更新)、結城消防署1局(更新)を配置する。携帯無線機6局購入 下館消防署2局、結城消防署1局、大和分署に3局をそれぞれ配置する。
2.23	水槽付消防ポンプ自動車を購入、大和分署に配置する。
2.28	大和分署車庫(鉄筋コンクリート平家建 112.50 m ² 、総工費 31,200,000 円)が大和村大字羽田1000番地に完成する。
3. 4	大和分署に加入電話2回線開設する。
S58. 4. 1	大和分署を開設する。職員5名採用、総数214名となる。
S59. 2. 1	職員3名採用、総数217名となる。
2.22	化学消防ポンプ自動車を購入、下館消防署に配置する。(更新)
3.31	職員4名退職、総数213名となる。
S59. 4. 1	茨城県防災行政無線局を消防本部に設置する。 第三代 濱野 正 消防長事務取扱退任
4. 2	第四代 池田 満 消防長就任、職員総数214名となる。
5. 1	職員2名採用、総数216名となる。
S60. 1. 1	科学万博消防署に職員2名派遣する。
3. 1	科学万博消防署に職員3名派遣する。(合計5名)
3.31	職員1名退職、総数215名となる。
S60. 6.29	結城消防署庁舎(鉄骨造2階建、建築面積 838.57 m ² 、延面積 1,371.57 m ² 、総工費 225,200,000 円)が結城市みどり町2丁目3番地に完成し移転する。
8. 1	職員4名採用、総数219名となる。
8. 3	(財)日本消防協会より広報車(ミツビシ・ギャラン)の寄贈を受け消防本部に配置する。(財)日本消防協会より「筑西広域少年婦人防火委員会」に軽可搬動力消防ポンプ(D-1級富士ロビン)2台の寄贈を受け、協和町「蓮沼団地婦人防火クラブ」下館市「羽黒婦人防火クラブ」に配置する。

S60.10. 1	国際科学技術博覧会協会より普通消防ポンプ自動車（A－1級トヨタ）の寄贈を受け、真壁消防署に配置する。
S61. 3.31	第四代 池田 満 消防長退任 職員3名退職、総数215名となる。
S61. 4. 1	第五代 肥田 猛 消防長就任 職員1名採用、総数216名となる。
5.23	救助艇（船外機付）を購入、結城消防署に配置する。
6. 1	職員1名採用、総数217名となる。
8. 5	台風10号水害により、大規模特殊災害広域航空消防応援により東京消防庁及び横浜市消防局航空隊の応援を受ける。
8. 7	（財）日本消防協会より「筑西広域少年婦人防火委員会」に軽可搬動力消防ポンプ（D－1級トーハツ）の寄贈を受け「結城市国府町婦人防火クラブ」に配置する。
S62. 3.31	職員1名退職、総数216名となる。
S62. 6.29	消防指令広報車1台購入、関城分署に配置する。（更新）
8. 3	（財）日本消防協会より「筑西広域少年婦人防火委員会」に軽可搬動力消防ポンプ（D－1級シバウラ）2台の寄贈を受け、「岩瀬町飯渕・久原婦人防火クラブ」及び「関城町上野婦人防火クラブ」に配置する。
8.25	第3回茨城県幼年・少年・婦人防火大会が下館市で開催され、会員1,200名が参加する。
9.17	水槽付消防ポンプ自動車を購入、下館消防署に配置する。（更新）
12. 1	職員1名採用、総数217名となる。
S63. 1.21	（社）日本自動車工業会より救急自動車の寄贈を受け、岩瀬消防署に配置する。
3. 4	救急自動車を2台購入、下館消防署、結城消防署に配置する。（更新）
S63. 7.30	（財）日本消防協会より「筑西広域少年婦人防火委員会」に軽可搬動力消防ポンプ（D－1級ラビット）2台の寄贈を受け、「下館市市野辺婦人防火クラブ」及び「関城町西保末婦人防火クラブ」に配置する。
8.30	水槽付消防ポンプ自動車を購入、岩瀬消防署に配置する。（更新）
12.27	救急自動車4台購入、真壁消防署、関城分署、明野分署、協和分署に配置する。（更新）
H1. 1.27	消防指令広報車を購入、結城消防署に配置する。（更新）
3.31	携帯無線機2局購入、結城消防署、真壁消防署に配置する。 職員1名退職、総数216名となる。
H1. 5.30	消防指令広報車3台購入、下館、岩瀬、真壁消防署に配置する。（更新）
7.27	携帯無線機2局購入、関城分署、明野分署に配置する。
8.30	下館消防署の放送設備を更新する。
10. 1	職員2名採用、総数218名となる。
10.11	水槽付消防ポンプ自動車2台購入、結城消防署、真壁消防署に配置する。（更新）
10.30	（財）日本消防協会より「筑西広域少年婦人防火委員会」に軽可搬動力消防ポンプ（D－1級トーハツ）の寄贈を受け真壁町「東山田婦人防火クラブ」に配置する。 （財）日本防火協会より防火広報車の寄贈を受け、消防本部に配置する。下館消防署の電話設備を更新する。

H2. 3. 1 3.31	(社)日本損害保険協会より救急車の寄贈を受け、下館消防署に配置する。(更新) 職員 3 名退職、総数 2 1 5 名となる。
H2. 4. 1 5.24 5.31 6.18 8. 2 8. 6 9.11	職員 3 名採用、総数 2 1 8 名となる。 電話ファクシミリを購入、下館消防署に設置する。 真壁消防署の電話設備を更新する。 消防指令広報車 2 台購入、明野分署、協和分署に設置する。(更新) (財)日本消防協会より「筑西広域少年婦人防火委員会」に軽可搬動力消防ポンプ(D-1 級シバウラ)の寄贈を受け、協和町「蓮沼団地婦人防火クラブ」に配置する。 岩瀬消防署の無線基地局を更新する。携帯無線機 2 局購入、結城消防署、協和分署に設置する。 水槽付消防ポンプ自動車 3 台購入、関城分署、明野分署、協和分署に配置する。 (更新)
H3. 3.31	職員 3 名退職、総数 2 1 5 名となる。
H3. 4. 1 5.23 6.15 6.26 12.18 12.25 H4. 1.29 3.13 3.31	職員 1 名採用、総数 2 1 6 名となる。 電話ファクシミリを購入し、結城、岩瀬、真壁消防署に設置する。 連絡車を購入し、消防本部に配置する。(更新) 査察車を購入し、下館消防署に配置する。(更新) 岩瀬消防署の電話設備を更新する。 化学消防ポンプ自動車を購入し、結城消防署に配置する。(更新) ひとり暮らし老人等緊急通報システムの開通式並びに業務を開始する。 (社)日本損害保険協会より救急車の寄贈を受け、結城消防署に配置する。(更新) (株)広沢電気より多目的電源照明車の寄贈を受け、下館消防署に配置する。 自動車電話、心電図伝送装置を購入し全救急車に配備、救急心電図伝送システムを開始する。 車載用無線機 2 局、携帯無線機 2 局を購入し、下館消防署、結城消防署に配置する。(更新) 普通消防ポンプ自動車を購入し、岩瀬消防署に配置する。(更新) 職員 3 名退職、総数 2 1 3 名となる。
H4. 4. 1 11.1 11.5 H5. 3. 3 3.31	職員 5 名採用、総数 2 1 8 名となる。 職員 1 名採用、総数 2 1 9 名となる。 普通消防ポンプ自動車を購入し、下館消防署に配置する。(更新) 水槽付消防ポンプ自動車を購入し結城消防署に配置する。(更新) 救助工作車を購入し、下館消防署に配置する。(増強) 職員 6 名退職、総数 2 1 3 名となる。
H5. 4. 1 10. 1 10.29	職員 6 名採用、総数 2 1 9 名となる。 職員 2 名採用、総数 2 2 1 名となる。 消防職員互助会及び筑西防火管理協議会より、一部寄付を受けマイクロバスを購入する。

H5.12.24	30メートル級はしご付消防ポンプ自動車を購入し結城消防署に配置する。 (増強)
H6. 3.31	第五代 肥田 猛 消防長退任 職員3名退職、総数217名となる。
H6. 4. 2	第六代 生井 一郎 消防長就任 職員10名採用、総数228名となる。
10. 1	職員2名採用、総数230名となる。
10.19	広報車を購入し、下館消防署に配置する。(更新)
12. 1	職員1名採用、総数231名となる。
H7. 1. 1	職員1名採用、総数232名となる。火災初期出動体制の改善を実施する。
2.17	救助工作車を購入し、結城消防署に配置する。(増強)
3.16	普通消防ポンプ自動車を購入し結城消防署に配置する。(更新)
3.20	下館消防署に無線局(基地局の全国波)を設置する。(増強)
3.30	広報車(山林パトロール用)2台購入し、岩瀬消防署及び真壁消防署に配置する。(更新)
3.31	職員4名退職、総数228名となる。
H7. 4. 1	職員8名採用、総数236名となる。
5.12	救急救命士法(平成3年法律第36号)施行後初の救急救命士免許取得者1名となる。
7.26	広報車を購入し、消防本部、結城消防署に配置する。(増強)
10. 1	職員1名採用、総数237名となる。
11.14	救急救命士免許取得者1名、計2名となる。
12.25	高規格救急車を購入し下館消防署に配置する。(増強) 救急救命士2名配置。
H8. 3.31	職員3名退職、総数234名となる。
H8. 4. 1	職員2名採用、総数236名となる。
6.25	下館消防署・筑西広域消防本部併用庁舎建設に係る用地の代行買収委託契約を筑西広域市町村圏事務組合管理者と(財)下館市開発公社副理事長との間で締結する。
7. 1	職員3名採用、総数239名となる。
7.10	下館消防署・筑西広域消防本部併用庁舎建設用地に係る買収契約を下館市開発公社と地権者5名で締結する。
8.27	下館消防署・筑西広域消防本部併用庁舎建設事業に係る設計会社選定方法について、首長会議の結果公募プロポーザル方式に決定する。
11. 5	38メートル級梯子付消防ポンプ自動車を購入し下館消防署に配置する。 (更新)
H9. 1.29	下館消防署・筑西広域消防本部併用庁舎建設事業の基本設計委託業務に係る公募型プロポーザル審査会を開催し、最適コンサルタント1社を選出する。
2. 3	救急自動車を購入し真壁消防署に配置する。(更新)
2.13	下館消防署・筑西広域消防本部併用庁舎建設工事基本設計業務に着手する。
3.22	化学防護服2着及び簡易画像探索機を購入し下館消防署に配置する。(増強)
3.27	下館消防署・筑西広域消防本部併用庁舎建設工事基本設計計画報告書が提出される。

H9. 3.31	第六代 生井 一郎 消防長退任 職員5名退職、総数233名となる。
H9. 4. 1	第七代 篠田 昭宣 消防長就任 職員5名採用、総数239名となる。
4.10	下館消防署・筑西広域消防本部併用庁舎建設工事実施設計業務に着手する。
5.19	救急救命士免許取得者1名、計3名となる。
5.20	下館消防署・筑西広域消防本部併用庁舎建設工事の地質調査業務に着手する。
9. 1	指令車を購入、大和分署に配置する。(更新)
10.24	下館消防署・筑西広域消防本部併用庁舎建設工事実施設計報告書が提出される
11.20	救急救命士免許取得者1名、計4名となる。
H10. 2. 2	9年・10年度下館消防署・筑西広域消防本部併用庁舎、建設工事、電気設備工事、機械設備工事を契約、工事に着手する。
2.27	下館消防署・筑西広域消防本部併用庁舎建設工事安全祈願祭を実施する。
3.20	普通消防ポンプ自動車を購入し下館消防署川島出張所に配置する。(更新) 高規格救急車を購入し結城消防署に配置する。(増強) 救急救命士2名配置。 救急車2台を購入し関城分署、明野分署に配置する。(更新)
3.31	職員1名退職、総数238名となる。
H10. 5.20	下館消防署・筑西広域消防本部併用庁舎訓練塔工事及び外構工事を契約する。
6.23	筑西広域消防本部消防緊急通信指令施設を契約する。
7. 1	職員8名採用、総数246名となる。
7.31	筑西広域消防本部消防緊急通信指令施設発信地表示システムを契約する。
9.30	筑西広域消防本部防災展示ホール施設工事を契約する。
10.28	水槽付消防ポンプ自動車を購入し、大和分署に配置する。(更新) 救急車を購入し、協和分署に配置する。(更新)
11.25	救急救命士免許取得者1名、計5名となる。
12.16	下館消防署・筑西広域消防本部併用庁舎備品を契約する。
H11. 3.23	筑西広域消防本部・下館消防署併用庁舎が竣工
3.31	第七代 篠田 昭宣 消防長退任 職員2名退職、総数243名となる。
H11. 4. 1	筑西広域消防本部・下館消防署新庁舎で業務を開始する。
	第八代 内田 昭治 消防長就任
	職員1名採用、総数244名となる。
5. 1	職員1名採用、総数245名となる。
9.12	大関消防司令補殉職、総数244名となる。
11.26	救急救命士免許取得者1名、計6名となる。
12. 6	化学消防ポンプ自動車を購入し、下館消防署に配置する。(更新) 消防ポンプ自動車を購入し、真壁消防署に配置する。(更新)
H12. 3.31	職員4名退職、総数240名となる。
H12. 4. 1	職員5名採用、総数245名となる。
5.26	救急救命士免許取得者1名、計7名となる。
H12.11.14	救急救命士免許取得者1名、計8名となる。
11.21	高規格救急車を購入し、岩瀬消防署に配置する。(更新) 救急救命士2名配置。

H13. 3.31	第八代 内田 昭治 消防長退任 職員4名退職、総数240名となる。
H13. 4. 1	第九代 藤田 隆 消防長就任 職員7名採用、総数247名となる。 救急車を大和分署に配置する。(増強)
4.26	救急救命士免許取得者1名、計9名となる。
6. 8	救急救命士免許取得者1名、計10名となる。
6.27	指令車を購入し、関城分署に配置する。(更新)
10.16	クレーン付搬送車・救助艇を購入し、下館消防署に配置する。(増強)
12. 3	救急救命士免許取得者1名、計11名となる。
H14. 1.30	救急車を購入し、大和分署に配置する。(更新)
2.28	指令車を購入し、結城消防署に配置する。(更新)
3.31	第九代 藤田 隆 消防長退任 職員2名退職、総数244名となる。
H14. 4. 1	第十代 本橋 幾郎 消防長就任 職員9名採用、総数254名となる。(救命士免許取得者1名含む) 救急救命士免許取得者1名、計12名となる。
6. 6	救急救命士免許取得者1名、計13名となる。
11.26	救急救命士免許取得者1名、計14名となる。
12.20	災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車を購入し、下館消防署に配置する。(更新) 小型動力ポンプ付大型水槽車を購入し、下館消防署に配置する。(増強)
H15. 3.31	職員7名退職、総数247名となる。
H15. 4. 1	職員11名採用、総数258名となる。
5. 6	救急救命士免許取得者1名、計15名となる。
10.29	指令車を購入し、岩瀬消防署に配置する。(更新) 指令車を購入し、真壁消防署に配置する。(更新)
11.13	災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車を購入し、岩瀬消防署に配置する。 (更新)
12. 9	災害対応特殊救急自動車を購入し、真壁消防署に配置する。(更新)
H16. 3.31	救急救命士免許取得者1名、計16名となる。 職員1名退職、総数257名となる。
H16. 4. 1	職員8名採用、総数265名となる。
5. 7	救急救命士免許取得者1名、計17名となる。
11. 9	災害対応特殊救急自動車を購入し、下館消防署川島出張所に配置する。(更新)
11.19	救急救命士免許取得者1名、計18名となる。
12. 7	指導車(ウイングロード)を購入し、下館消防署に配置する。(更新)
12.26	職員1名退職、総数264名となる。
H17. 2. 1	職員1名採用、総数265名となる。
2.28	職員1名退職、総数264名となる。
3.28	下館市、関城町、明野町、協和町が合併、『筑西市』となる。
3.31	水槽付消防ポンプ自動車を購入し、真壁消防署、結城消防署南出張所に配置する。(更新) 職員2名退職、総数262名となる。

H17.4.1	職員8名採用、総数270名となる。(救命士免許取得者2名含む)
10.1	岩瀬町、真壁町、大和村が合併、『桜川市』となる。
11.10	救急救命士免許取得者1名、計19名となる。
11.21	指令車を購入し、明野分署、協和分署に配置する。(更新)
H18.3.10	高規格救急車を購入し、下館消防署に配置する。(更新)
3.27	水槽付消防ポンプ自動車を購入し、関城分署、明野分署に配置する。(更新)
3.31	職員5名退職、総数265名となる。
H18.4.1	職員8名採用、総数273名となる。
4.26	救急救命士免許取得者1名、計22名となる。
11.6	職員1名退職、総数272名となる。
H19.3.15	広報車を購入し、下館消防署に配置する。(更新)
	災害対応特殊救急自動車を購入し、結城消防署に配置する。(更新)
	災害対応特殊消防ポンプ自動車(600ℓ水槽付)を購入し、岩瀬消防署に配置する。(普通ポンプ車の更新)
3.31	水槽付消防ポンプ自動車を購入し、協和分署に配置する。(更新)
	第十代 本橋 幾郎 消防長退任
	職員5名退職、広域事務局へ1名転出、総数266名となる。
H19.4.1	第十一代 飯村 勝行 消防長就任 職員8名採用、総数274名となる。
4.26	救急救命士免許取得者1名、計23名となる。
6.1	職員1名採用、総数275名となる。
11.22	職員1名退職、総数274名となる。
H20.1.20	職員1名退職、総数273名となる。
H20.3.31	職員5名退職、総数268名となる。
H20.4.1	消防本部組織再編
	下館消防署を筑西消防署に名称変更、関城・明野・協和分署が筑西消防署の管轄分署となる。
	岩瀬消防署を桜川消防署に名称変更、真壁消防署の組織を変更し真壁分署となる。
	真壁・大和分署が桜川消防署の管轄分署となる。
4.15	桜川消防署に北関東自動車道路供用開始に伴い救急車を配置する。(増強)
4.21	消防本部の救急車(予備車)を廃車する。
	救急救命士免許取得者1名、計24名となる。
6.30	肥田猛氏より連絡車(パツソ)の寄贈を受け、消防本部に配置する。
10.1	消防緊急通信指令施設を高機能消防通信システムに部分更新する。
10.20	職員1名退職、総数267名となる。
3.31	第十一代 飯村 勝行 消防長退任
	職員7名退職、広域事務局へ1名転出、総数259名となる。
H21.4.1	第十二代 大和田 邦一 消防長就任
	職員9名採用、総数268名となる。(救命士免許取得者2名含む)
4.22	救急救命士免許取得者3名、計29名となる。

H21.10.31	職員 1 名退職、総数 2 6 7 名となる。
12.1	高規格救急車を購入し、桜川消防署に配置する。(更新)
12.1	高規格救急車を購入し、筑西消防署明野分署に配置する。(更新)
H22.1.22	電源照明車を廃車する
3.25	指揮車を購入し、消防本部に配置する。(更新)
H22.3.31	職員 7 名退職、総数 2 6 0 名となる。
H22.4.1	職員 1 0 名採用、総数 2 7 0 名となる。
4.13	救急救命士免許取得者 2 名、計 3 1 名となる。
H23.1.18	救助工作車を購入し、筑西消防署に配置する。(更新)
H23.3.28	指令車を購入し、結城消防署に配置する。(更新)
H23.3.31	職員 7 名退職、総数 2 6 3 名となる。
H23.4.1	職員 1 0 名採用、総数 2 7 3 名となる。 広域事務局から 2 名、総務課へ配属となる。

平成 2 2 年 度 消 防 当 初 予 算

(単位:円)

歳 入	
消防分賦金	2,543,147,000
組 合 債	83,900,000
繰 越 金	38,700,000
国補助金	46,514,000
諸 収 入	51,656,000
使用料及び手数料	3,897,000
合 計	2,767,814,000

(単位:円)

歳 出	
職員給与関係経費	2,301,137,000
消防運営事務費	151,175,000
消防施設整備事業	141,279,000
公 債 費	173,223,000
予 備 費	1,000,000
合 計	2,767,814,000

平成 2 2 年 度 消 防 分 賦 金 明 細

(単位:円)

市 別	分 賦 金		左 の 内 訳					
			世帯割 (40%)		基準財政需要額割 (30%)		職員割 (30%)	
筑西市	1,278,449,000	50.8%	531,406,124	52.8%	393,803,137	52.2%	353,239,575	46.8%
結城市	612,520,000	24.3%	262,526,129	26.1%	168,512,915	22.3%	181,480,882	24.0%
桜川市	625,998,000	24.9%	212,854,547	21.1%	192,774,048	25.5%	220,369,643	29.2%
合 計	2,516,967,000	100.0%	1,006,786,800	100.0%	755,090,100	100.0%	755,090,100	100.0%

※筑西消防署・消防本部消防庁舎敷地の特別分賦金 26,180千円は含まない。

構成3市の面積・人口・世帯数

(平成23年4月1日現在)

区分 市別	面積 (km ²)	人口 (人)			世帯数 (戸)	一世帯当り (人)
		男	女	計		
筑西市	205.35	53,085	54,296	107,381	35,547	3.02
結城市	65.84	26,002	26,020	52,022	18,121	2.87
桜川市	179.78	23,277	23,784	47,061	14,903	3.15
合 計	450.97	102,364	104,100	206,464	68,571	3.01

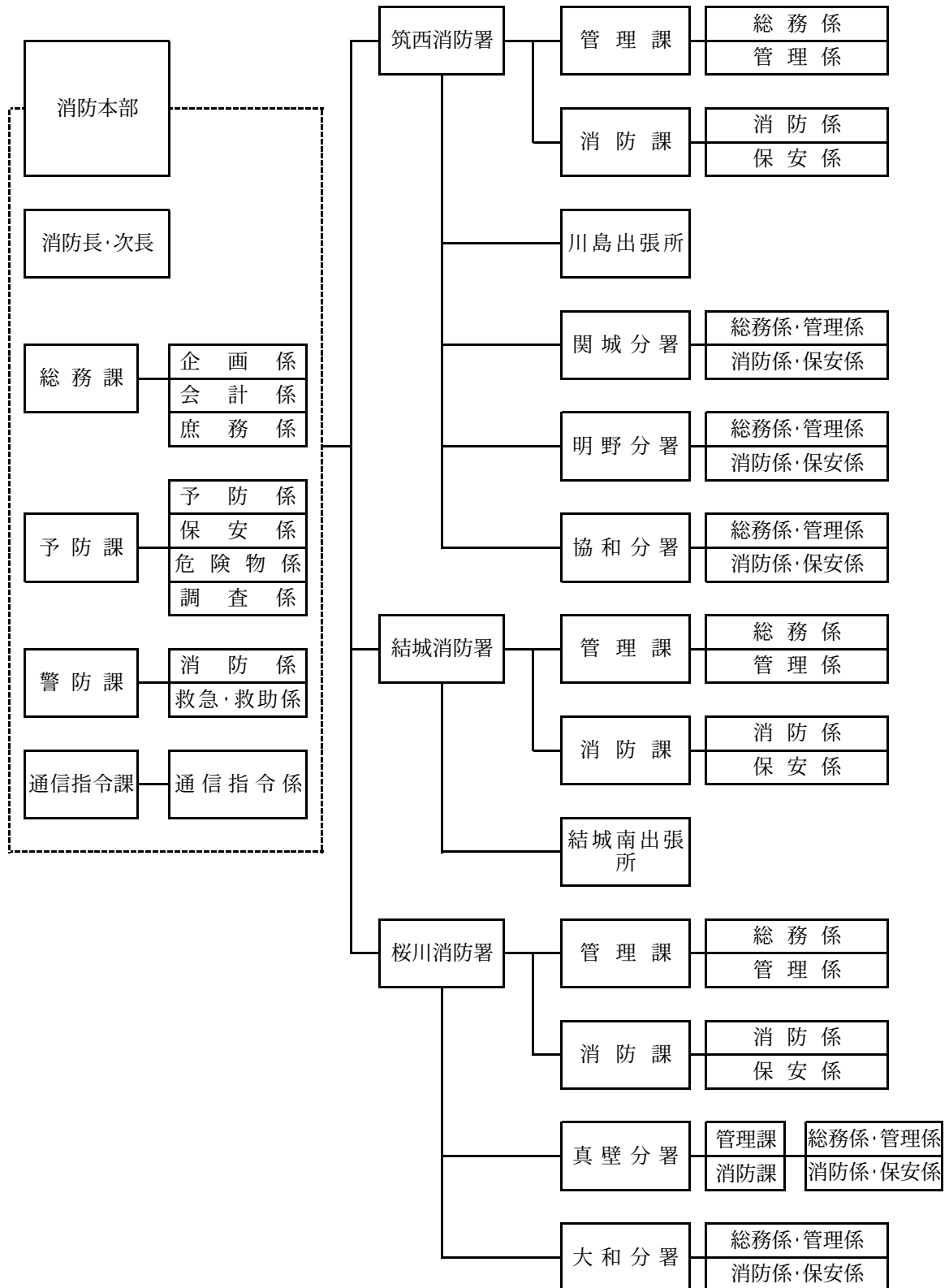
消 防 車 両 等 配 置 状 況

(平成23年4月1日現在)

車両別 署 所 別	水ポ 槽ン 付プ 車	普ポ 通ン プ 車	梯 子 車	化 学 車	救 工 作 助車	救 急 車	指 令 車	水 槽 車	搬 送 車	指 揮 車	そ の 他	計
消 防 本 部	1									1	5	7
筑西消防署	※1	1	1	1	1	※1	1	1	1		3	12
関 城 分 署	1					1	1					3
明 野 分 署	1					※1	1					3
協 和 分 署	1					1	1					3
川島出張所		1				※1						2
結城消防署	1	1	1	1	1	※1	1				1	8
結城南出張所	1					1						2
桜川消防署	※1	※1				2	1				1	6
真 壁 分 署	1	1				※1	1					4
大 和 分 署	1					1	1					3
合 計	10	5	2	2	2	11	8	1	1	1	10	53

※は災害対応特殊車両

消 防 本 部 (署) 組 織 図



消 防 本 部 事 務 分 掌

総 務 課

- (1) 公印の管守に関すること。
- (2) 文書に関すること。
- (3) 職員の昇任、昇格に関すること。
- (4) 消防関係例規に関すること。
- (5) 消防施設、建設、管理に関すること。
- (6) 職員の健康管理及び福利厚生に関すること。
- (7) 職員の共済組合及び退職手当組合に関すること。
- (8) 職員の任免、配置、服務、分限、懲戒表彰その他の人事に関すること。
- (9) 消防用財産の管理に関すること。
- (10) 予算及び経理に関すること。
- (11) 貸与品及び消耗品等に関すること。
- (12) 職員の給与、公務災害補償及び補償補填に関すること。
- (13) 広報及び統計に関すること。
- (14) 消防事務の企画及び事務管理に関すること。
- (15) 組織及び制度に関すること。
- (16) 研修計画及び管外消防との情報連絡に関すること。
- (17) 消防職員委員会に関すること。
- (18) 他の課に属しないこと。

予 防 課

- (1) 火災の予防に関すること。
- (2) 防火思想の普及に関すること。
- (3) 予防査察及び指導に関すること。
- (4) 消防相談に関すること。
- (5) 罹災証明等に関すること。
- (6) 火災の統計に関すること。
- (7) 消防用設備等の設置及び指導に関すること。
- (8) 火災原因及び損害の調査に関すること。
- (9) 防火管理者及び危険物取扱者に関すること。
- (10) 防火保安団体に関すること。
- (11) 危険物製造所等の許認可に関すること。
- (12) 危険物製造所等の火災予防措置に関すること。
- (13) 少量危険物及び指定可燃物の火災予防措置に関すること。

予 防 課

- (14) 液化石油ガス等貯蔵取扱施設の保安上の措置に関すること。
- (15) 防火対象物定期点検報告制度に関すること。

警 防 課

- (1) 警防計画に関すること。
- (2) 消防の相互応援に関すること。
- (3) 火災の出動及び防ぎよに関すること。
- (4) 消防技術の調査及び研究に関すること。
- (5) 職員の教養、訓練に関すること。
- (6) 水利統制に関すること。
- (7) 防災関係機関及び医療機関との連絡に関すること。
- (8) 救急、救助に関すること。
- (9) 消防機械の配置に関すること。
- (10) 消防機器の整備及び管理に関すること。
- (11) 機関員の技能管理に関すること。
- (12) 消防地理水利及び調査に関すること。
- (13) 車両の交通事故に関すること。
- (14) 消防用油脂類及び消火薬剤の管理に関すること。
- (15) 消防緊急援助隊に関すること。

通 信 指 令 課

- (1) 消防緊急システムの企画、調整及び運営管理に関すること。
- (2) 通信技術の研究及び指導に関すること。
- (3) 通信施設及び器具の運用並びに維持管理に関すること。
- (4) 出動指令に関すること。
- (5) 通信統制に関すること。
- (6) 気象情報の収集及び伝達に関すること。
- (7) 各種災害情報の収集及び伝達に関すること。
- (8) 消防通信連絡に関すること。
- (9) 防災行政無線に関すること。
- (10) 火災警報及び消防情報に関すること。
- (11) その他通信指令事務に関すること。

消 防 署 (分署) 事 務 分 掌

筑西・結城・桜川消防署・真壁分署

管理課

総務係

- (1) 公印の管守に関すること。
- (2) 文書に関すること。
- (3) 広報及び統計に関すること。
- (4) 予算及び経理に関すること。
- (5) 消防用財産の管理に関すること。
- (6) 職員の給与、公務災害補償及び補償補填に関すること。
- (7) 職員の健康管理及び福利厚生に関すること。
- (8) 給貸与品及び消耗品等に関すること。
- (9) 職員の賞罰に関すること。
- (10) 職員の服装及び勤務に関すること。
- (11) 他の課又係に属さないこと。

管理係

- (1) 消防技術の調査、研究、向上に関すること。
- (2) 職員の教養、訓練に関すること。
- (3) 消防用通信施設の管理に関すること。
- (4) 消防機器の管理に関すること。
- (5) 車両の交通事故に関すること。
- (6) 消防用油脂類及び消火薬剤の管理に関すること。
- (7) 消防用ホースの保守管理に関すること。
- (8) 警防計画に関すること。
- (9) 火災等の警防に関すること。
- (10) 消防地理及び消防水利に関すること。
- (11) 救急、救助業務に関すること。
- (12) 特別救助隊に関すること。

消防課

消防係

- (1) 罹災証明等に関すること。
- (2) 火災の統計に関すること。
- (3) 火災予防に関すること。
- (4) 防火思想の普及に関すること。
- (5) 予防査察に関すること。
- (6) 消防相談に関すること。
- (7) 防火管理者、危険物取扱者等の育成指導に関すること。
- (8) 消防計画及び訓練指導に関すること。
- (9) 消防用設備及び危険物製造所等の点検、報告に関すること。
- (10) その他火災予防事務に関すること。

保安係

- (1) 建築確認等の同意に関すること。
- (2) 消防用設備等の設置指導及び検査に関すること。
- (3) 危険物製造所等の規制に関すること。
- (4) 危険物製造所等の火災予防措置に関すること。
- (5) 少量危険物、指定可燃物の火災予防措置に関すること。
- (6) 液化石油ガス貯蔵取扱施設の保安上の措置に関すること。
- (7) 高圧ガス、火薬類、核燃料物質、放射性同位元素、劇毒物等の査察及び火災予防措置に関すること。

関城・明野・協和・大和分署

総務係

- (1) 文書に関すること。
- (2) 広報及び統計に関すること。
- (3) 予算及び経理に関すること。
- (4) 消防用財産の管理に関すること。
- (5) 職員の給与、公務災害補償及び補償補填に関すること。
- (6) 職員の健康管理及び福利厚生に関すること。
- (7) 給貸与品及び消耗品等に関すること。
- (8) 職員の服務及び勤務に関すること。
- (9) 他の係に属さないこと。

管理係

- (1) 消防技術の調査、研究、向上に関すること。
- (2) 職員の教養、訓練に関すること。
- (3) 消防用通信施設の管理に関すること。
- (4) 消防機器の管理に関すること。
- (5) 車両の交通事故に関すること。
- (6) 消防用油脂類及び消火薬剤の管理に関すること。
- (7) 消防用ホースの保守管理に関すること。
- (8) 警防計画に関すること。
- (9) 火災等の警防に関すること。
- (10) 消防地理及び消防水利に関すること。
- (11) 救急、救助業務に関すること。

消防係

- (1) 火災の統計に関すること。
- (2) 火災予防に関すること。
- (3) 防火思想の普及に関すること。
- (4) 予防査察に関すること。
- (5) 消防相談に関すること。
- (6) 防火管理者、危険物取扱者等の育成指導に関すること。
- (7) 消防計画及び訓練指導に関すること。
- (8) 消防用設備及び危険物製造所等の点検、報告に関すること。
- (9) その他火災予防事務に関すること。

保安係

- (1) 消防用設備等の設置指導及び検査に関すること。
- (2) 危険物製造所等の規制に関すること。
- (3) 危険物製造所等の火災予防措置に関すること。
- (4) 少量危険物及び指定可燃物の火災予防措置に関すること。
- (5) 石油ガス貯蔵取扱施設の保安上の措置に関すること。
- (6) 高圧ガス、火薬類、核燃料物質、放射性同位元素、劇毒物等の査察及び火災予防措置に関すること。

消防本部・署所別庁舎一覧表

区分 署別	所在地	構造	建築 面積	延べ 面積	敷地 面積
消 防 本 部 筑西消防署	筑西市直井 1,076 番地 平成 11 年 3 月 23 日竣工	庁舎 RC3/0 訓練塔A RC6/0 訓練塔B S2/0 訓練塔C S2/0	m ² 2634.42 77.66 149.74 81.91	m ² 5413.66 341.30 289.81 155.46	m ² 14,911.00
筑西消防署 関城分署	筑西市上野 1,045 番地 1 昭和 50 年 4 月 7 日竣工	RC1/0	259.98	259.98	3,553.24
筑西消防署 明野分署	筑西市倉持 1,123 番地 1 昭和 50 年 4 月 12 日竣工	RC1/0	250.00	250.00	743.00
筑西消防署 協和分署	筑西市門井 1,976 番地 1 昭和 50 年 7 月 4 日竣工	RC1/0	260.82	260.82	1,886.52
筑西消防署 川島出張所	筑西市下川島 771 番地 1 昭和 44 年 3 月 31 日竣工	RC2/0 (公民館一部 消防庁舎)	58.30	58.30	265.70
結城消防署	結城市みどり町二丁目 3 番地 昭和 60 年 6 月 29 日竣工	ALC2/0	855.41	1,371.57	3,361.45
結城消防署 結城南出張所	結城市大字大木 1,138 番地 昭和 50 年 4 月 1 日竣工	RC1/0	250.80	250.80	1,332.18
桜川消防署	桜川市西桜川二丁目 29 番地 昭和 49 年 8 月 5 日竣工	RC1/0	442.85	436.69	2,565.02
桜川消防署 真壁分署	桜川市真壁町山尾 793 番地 昭和 49 年 7 月 10 日竣工	RC1/0	435.20	426.40	1,224.54
桜川消防署 大和分署	桜川市羽田 1,000 番地 昭和 58 年 3 月 31 日竣工	庁舎 RC2/0 車庫 RC1/0	137.79 114.00	213.77 114.00	902.00

職員係別配置状況(1)

(平成23年4月1日現在)

階級		計	消防正	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	事務員
消防本部	本部・署係別										
	消防長	1	1								
	次長	1		1							
	総務課	課長	1	1							※1
		課長補佐	2		1	1					
		企画係	(1)			(1)					※(1)
		会計係	0				1				※1
		庶務係	1					1		6	
		総務課付	8			1					
	予防課	課長	1	1							
		課長補佐	1			1					
		調査係	(1)			(1)					
		予防・保安係	1				1				
		危険物係	1				1				
	警防課	課長	1		1						
		課長補佐	3		1	2					
		消防係	(1)			(1)					
		救急・救助係	3(1)			(1)	3				
	通信指令課	課長	1		1						
		課長補佐	4			4					
		係長	8				8				
		係員	2					2			
	小計	40	1	3	4	9	14	3	0	6	※2
消防署	署長	1			1						
	副署長	1			1						
	管理課	課長	1			1					
		課長補佐	1			1					
		総務係	13				2	3	4	4	
		管理係	17				5	5	4	3	
	消防課	課長	1			1					
		課長補佐	1			1					
		消防係	11				4	2	4	1	
		保安係	11				2	7	2		
	警防課長補佐	2				2					
	予防専従員	4					3	1			
	小計	64		0	2	6	16	18	14	8	
関城分署	分署長	1				1					
	総務係	4					1	1	2		
	管理係	4					1	1		2	
	消防係	3					1	2			
	保安係	3					1	2			
	小計	15	0	0	0	1	4	6	2	2	
明野分署	分署長	1				1					
	総務係	4					1	1	1	1	
	管理係	5					1	1	1	2	
	消防係	3					1	2			
	保安係	2					1	1			
	小計	15	0	0	0	1	4	5	2	3	

※広域事務局からの出向、小計には含めない

職員係別配置状況(2)

(平成23年4月1日現在)

階級		計	消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	事務員
協和分署	分署長	1				1					
	総務係	4					1	2		1	
	管理係	4					1	1	1	1	
	消防係	3					1		1	1	
	保安係	3					1	1	1		
	小計	15				1	4	4	3	3	
結城消防署	署長	1			1						
	副署長	1			1						
	管理課	課長				1					
		課長補佐				1					
		総務係					3	3	3	1	
		管理係					2	3	3	5	
	消防課	課長				1					
		課長補佐				1					
		消防係					3	3	3	2	
		保安係					3	5	3		
	警防課長補佐					2					
	予防専従員						1		1		
	小計	55			2	6	12	14	13	8	
桜川消防署	署長	1			1						
	副署長兼大和分署長				1						
	管理課	課長				1					
		課長補佐				1					
		総務係					3	5		2	
		管理係					3	4	2	1	
	消防課	課長				1					
		課長補佐				1					
		消防係					3	4		3	
		保安係					3	2	1	3	
	警防課長補佐					1					
	予防専従員						1				
	小計	47			2	5	13	15	3	9	
真壁分署	分署長	1				1					
	管理課	課長									
		課長補佐				1					
		総務係					2	1		3	
		管理係					2	3		1	
	消防課	課長									
		課長補佐				1					
		消防係					1	1	1	1	
		保安係					1	1	1		
	小計	22				3	6	6	2	5	
合計		273	1	3	10	32	73	71	39	44	※2

※広域事務局からの出向、合計には含まない。

職員勤務年数

(平成23年4月1日現在)

階級 勤続年数	計	消防 正監	消防 監	消防 司令長	消防 司令	消防 司令補	消防 士長	消防 副士長	消防 士	事務 吏員
1年未満	10								10	
1年	10								10	
2年	9								9	
3年	1								1	
4年	7							1	6	
小計	37							1	36	
5年	8							3	5	
6年	8							7	1	
7年	8							7	1	
8年	8						4	3	1	
9年	9					1	3	5		※1
小計	41					1	7	25	8	※1
10年	7					1	2	4		
11年	6					1	3	2		
12年	7					3	4			
13年										
14年	7				1	2	4			
小計	27				1	7	13	6		
15年	2					1	1	1		
16年	11				2	2	4	3		
17年	10				1	4	4	1		
18年	6				1	1	4			
19年	4					1	3			
小計	33				4	9	15	5		
20年	1						1			
21年	4					3	1			※1
22年										
23年	1					1				
24年	1							1		
小計	7					4	2	1		※1
25年	4				1	1	2			
26年	2					1	1			
27年	3			1		1		1		
28年	10				1	6	3			
29年	2				1	1	1			
小計	21			1	3	9	7	1		
30年										
31年	4					2	2			
32年	2				1		1			
33年	4			1	2		1			
34年	4				1	1	2			
小計	14			1	4	3	6			
35年	17			1	4	8	4			
36年	27	1	2	1	5	13	5			
37年	22			1	6	9	6			
38年	22			4	5	9	4			
39年	5		1	1		1	2			
40年										
41年										
小計	93	1	3	8	20	40	21			
合計	273	1	3	10	32	73	71	39	44	※2

※広域事務局からの出向、合計には含めない。

職員階級別年齢

(平成23年4月1日現在)

階級 年齢	計	消 防 正 監	消防監	消 防 司令長	消 防 司 令	消 防 司令補	消 防 士 長	消 防 副士長	消防士	事 務 吏 員
19歳未満										
19歳	3								3	
20歳	1								1	
21歳	2								2	
22歳	6								6	
23歳	9								9	
24歳	8							1	7	
25歳	3								3	
26歳	7							2	5	
27歳	8							4	4	
28歳	9							5	4	
29歳	7						1	6		
30歳	7						3	4		※1
31歳	9						4	5		
32歳	7					4	1	2		
33歳	6					1	3	2		
34歳	9					2	4	3		
35歳	9					3	5	1		
36歳	5					2	2	1		
37歳	9					1	7	1		
38歳	8				2	3	3			
39歳	7				3	1	3			
40歳										
41歳	1						1			
42歳	1					1				
43歳	3					2		1		
44歳	1					1				
45歳	3				1	1	1			※1
46歳	1				1					
47歳	3					2	1			
48歳	4				1	3				
49歳	3						2	1		
50歳	1					1				
51歳	5				1	2	2			
52歳	8			1	2	2	3			
53歳	5			1	1		3			
54歳	21				5	11	5			
55歳	19		1	1	7	4	6			
56歳	23			3	3	14	3			
57歳	17				3	8	6			
58歳	12	1	1	4	1	3	2			
59歳	3		1		1	1				
合 計	273	1	3	10	32	73	71	39	44	※2

※広域事務局からの出向、合計には含めない。

職 員 住 所

(平成23年4月1日現在)

階 級 圏 別		計	消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	事務吏員
圏内	筑西市	148	1	2	5	24	29	39	25	23	※1
	結城市	38			2		16	11	5	4	
	桜川市	73			3	7	25	16	8	14	※1
圏外	古河市	1						1			
	下妻市	2		1						1	
	つくば市	3						1	1	1	
	八千代町	2					1	1			
	常総市	1						1			
	笠間市	1								1	
	真岡市	1						1			
県外	小山市	2					2				
	下野市	1				1					
合 計		273	1	3	10	32	73	71	39	44	※2

※広域事務局からの出向、合計には含めない。

職 員 年 度 別 人 員

(平成23年4月1日現在)

階 級 年 度 別		合 計	消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	事務吏員
平成23年		273	1	3	10	32	73	71	39	44	※2
平成22年		270	1	4	8	33	74	69	38	43	
平成21年		268	1	4	7	33	72	71	36	44	
平成20年		268	1	5	6	29	71	73	36	47	
平成19年		274	1	3	5	33	74	75	36	47	
平成18年		273	1	2	7	28	68	79	33	54	1
平成17年		270	1	2	7	24	61	94	33	47	1
平成16年		265	1	2	7	24	62	83	33	52	1
平成15年		258	1		7	26	63	75	41	44	1
平成14年		254	1	2	9	26	66	60	47	43	
平成13年		247	1	1	10	18	61	75	47	34	
平成12年		245	1	2	10	20	61	64	51	36	

※広域事務局からの出向、合計には含めない。

職 員 任 免 状 況

(平成22年度)

種 別 階 級	任 用		出 向		退 職 等							負 傷 等	
	採 用	昇 任	転 入	転 出	定 年	勸 奨	依 願	公 務 死 亡	公 務 外 死 亡	懲 戒 免 職	失 職	休 職	復 職
消 防 正 監													
消 防 監		1			2								
消 防 司 令 長		3											
消 防 司 令		3			1								
消 防 司 令 補		5			3								
消 防 士 長		8			1								
消 防 副 士 長		9											
消 防 士	10												
合 計	10	29			7								

礼 状 等 発 送 状 況

(平成22年度)

月別 種別		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合 計
火 災	発生件数	5	13	3	12	6	10	1	4	6	19	9	19	107
	発送件数								2	1	1			4
救 急	発生件数	564	584	542	688	677	571	554	608	630	720	555	724	7417
	発送件数													
そ の 他	発生件数	41	43	40	77	57	64	38	46	104	93	89	109	801
	発送件数													

表 彰 関 係

(平成22年度)

区 分	消防長一般表彰				職 員 表 彰								
種 別	優 良 分 団	消 火 協 力	救 助 協 力	火 災 予 防	消 防 庁 長 官	茨 城 県 消 防 長 会	茨 城 県 知 事	茨 城 県 消 防 協 会	日 本 消 防 協 会	全 国 消 防 長 会	全 国 消 防 協 会	消 防 長 表 彰	合 計
人数・団体数	7	1	4		2		9	2	2	1		55	83

※ 救助大会等に伴う各種表彰は除く

予 防 関 係

平成23年度消防本部業務重点施策

「安全で安心なまちづくり」

社会経済情勢の変化に伴う消防ニーズに的確に対応するために、地域との連携を積極的に図るとともに、総合整備 10 カ年計画に基づいた消防力の適正な整備を推進し、「市民生活の安全と安心」を確保する。

予防部門

(1) 住宅防火安全対策の推進

住宅火災による死者の低減及び被害の軽減を図るため、既存住宅への住宅用火災警報器の設置促進を図る。

(2) 防火対象物における防火安全対策の推進

消防法第8条対象物及び危険物施設に対する立入検査を重点的かつ計画的に実施し、火災予防対策と法令基準の適合確保等、防火安全対策の徹底を図る。

(3) 予防業務担当要員の育成推進

予防行政や火災原因調査等に、より高度な専門的知識及び技術と柔軟に対応できる判断能力を有する人材育成を推進し、組織力の向上を図る。

火 災

筑西広域管内における平成２２年度の出火件数は１０７件で、前年度と比較して２６件増加し、損害額も３４２，５９９千円で前年度に比べ１３０，４９６千円の増加となっています。

火災種別では、建物からの出火件数が７７件で、全体の７２％と多くを占めています。出火原因別では、放火（疑いを含む）によるものが２０件といちばん多く、全体の１９％となり、過去１５年間トップを占めています。

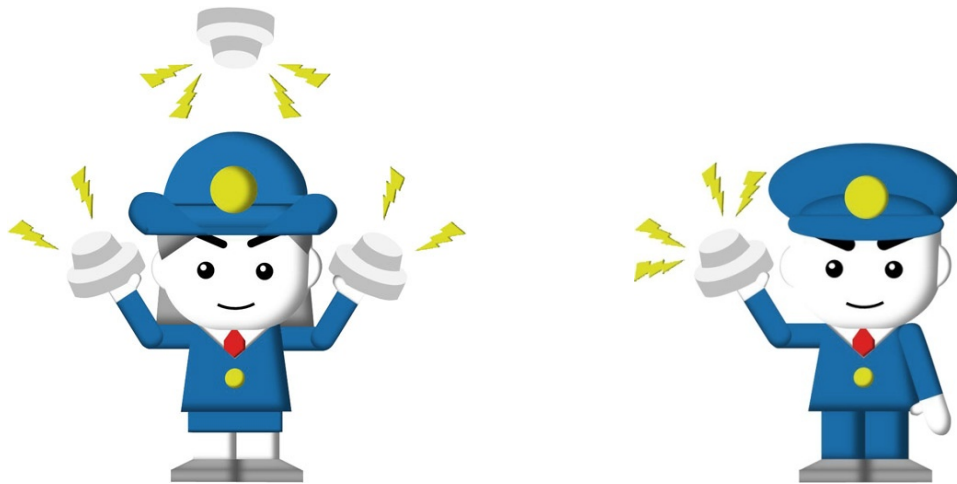
そんな中で東日本大震災が発生した３月１１日には、当本部管内においても地震後に４件の火災が発生しました。

また、平成２２年度における火災による死傷者は、死者２名、負傷者１０名となっています。火災による死者は、高齢者が占める割合が多く、今後の高齢化の進展とともにさらに増加することが懸念される状況にあります。

このため、平成１６年の消防法改正により、すべての住宅を対象として住宅用火災警報器等の設置及び維持が義務付けられました。

新築住宅については、平成１８年６月１日に設置が義務付けられ、既存住宅についても、条例によって平成２３年６月１日に義務づけられました。

火災を出さないために、寝たばこは、絶対やめる。ストーブは、燃えやすいものから離れた位置で使用する。ガスコンロなどのそばを離れるときは、必ず火を消す。



火災概要

(平成22年度)



建物火災 77件
損害額 338,182千円



車両火災 10件
損害額 2,937千円



林野火災 2件
損害額 0千円



その他の火災 18件
損害額 1,480千円

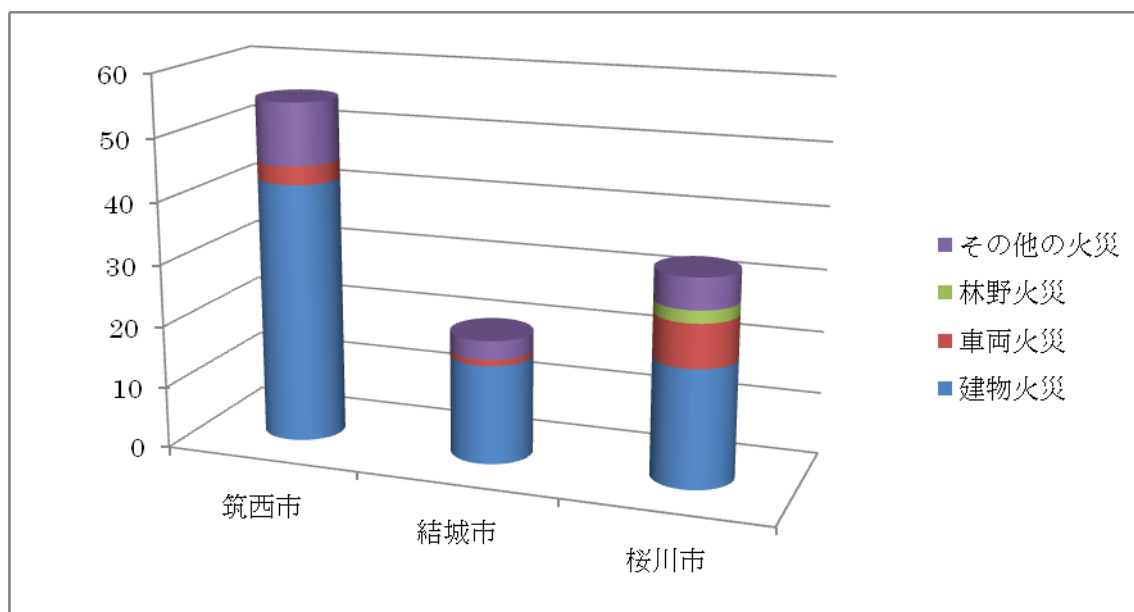
市別火災種別

(平成22年度)

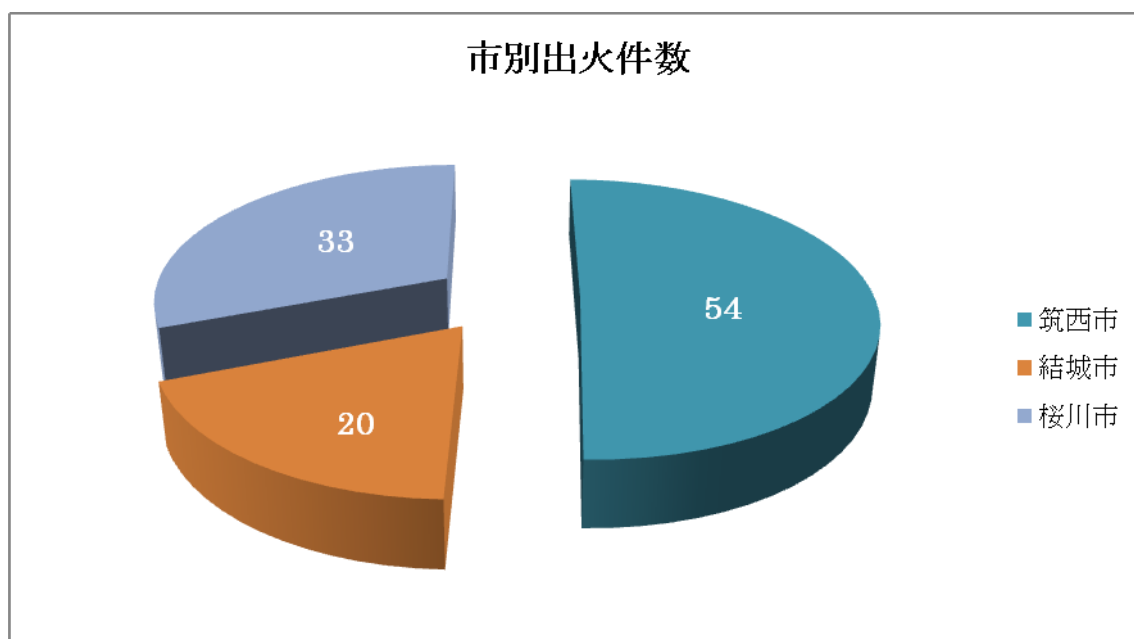
市別 \ 火災種別	計	建物火災	車両火災	林野火災	その他の火災
筑西市	54	42	2	0	10
結城市	20	16	1	0	3
桜川市	33	19	7	2	5
合 計	107	77	10	2	18

市別火災種別

(平成22年度)



(平成22年度)



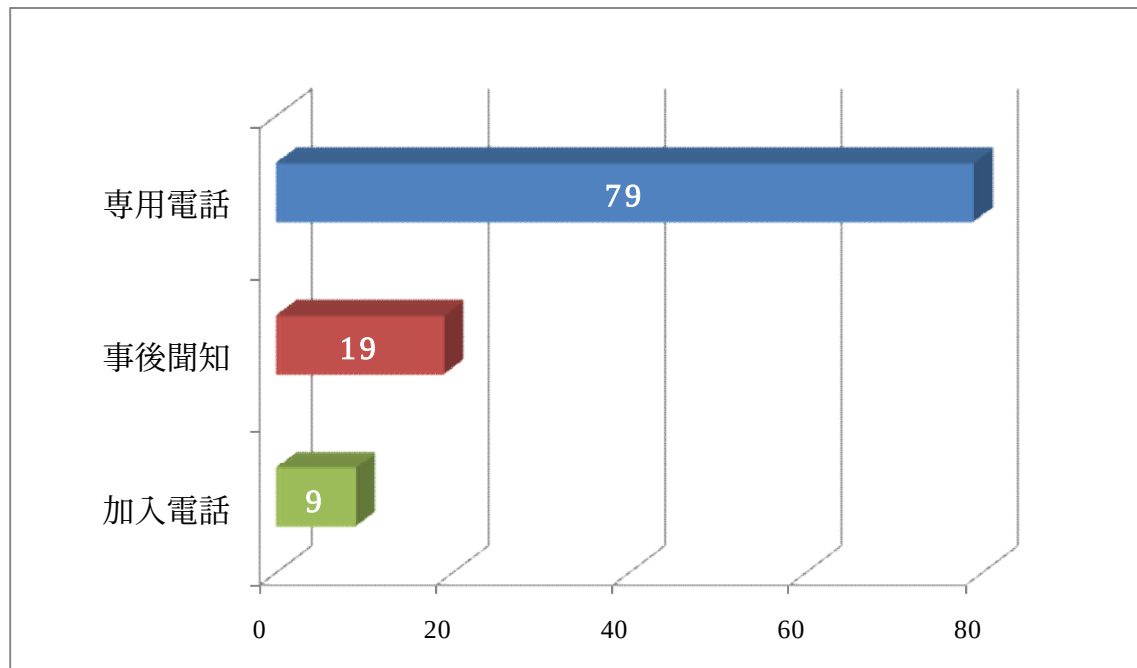
市別火災状況

(平成22年度)

市別 種別		市	単位	計	筑西市	結城市	桜川市
建物焼損棟数	全焼	棟		55	28	19	8
	半焼			13	8	2	3
	部分焼			24	16	7	1
	ぼや			39	18	10	11
	合計			131	70	38	23
焼損面積	床面積	㎡		6,019	2,706	2,712	601
	表面積			581	549	12	20
	合計			6,600	3,255	2,724	621
林野焼損面積		a		19	12	0	7
罹災世帯	全損	世帯		20	7	9	4
	半損			5	3	1	1
	小損			31	18	9	4
	合計			56	28	19	9
罹災者数		人		158	71	54	33
損害額	建物火災	千円		338,182	154,742	135,134	48,306
	林野火災			0	0	0	0
	車両火災			2,937	672	1,025	1,240
	その他の火災			1,480	1,164	143	173
	合計			342,599	156,578	136,302	49,719
死傷者	死者	人		2	1	0	1
	傷者			10	4	3	3
	合計			12	5	3	4

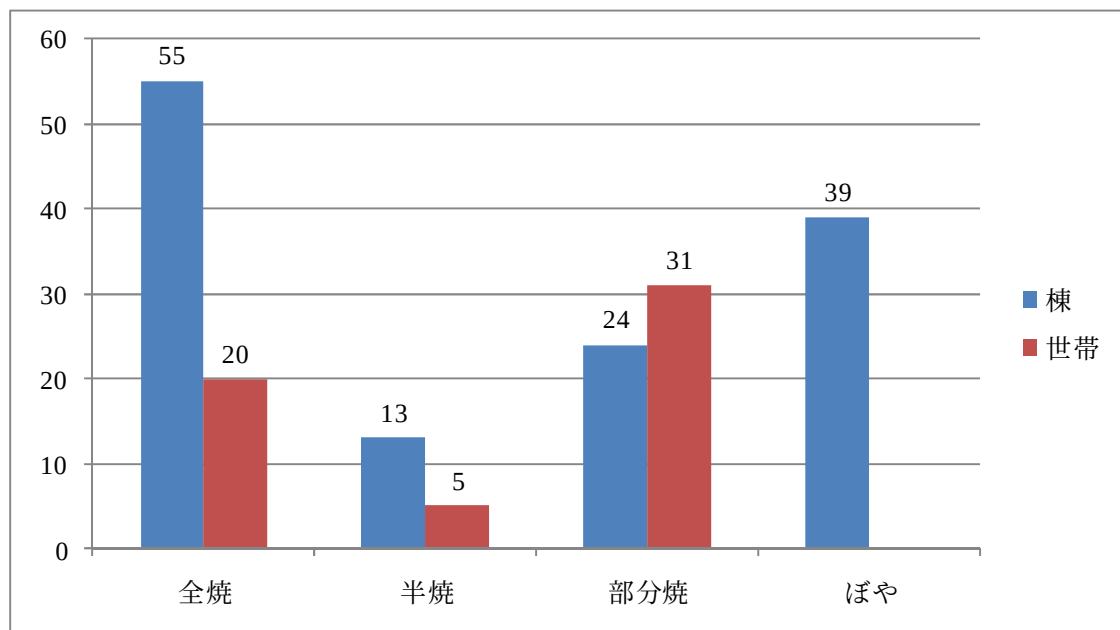
覚知別出火件数

(平成22年度)

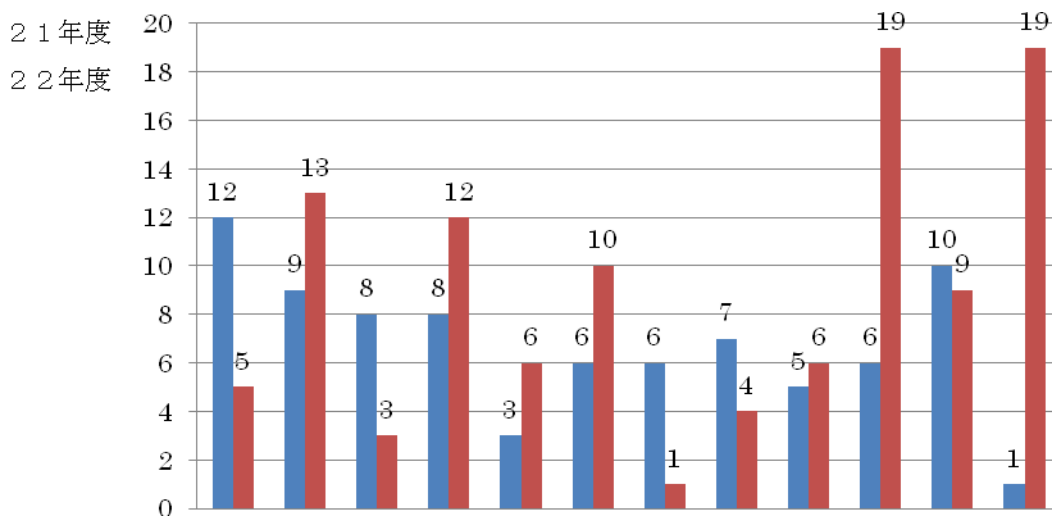


建物火災焼損棟数及び罹災世帯数

(平成22年度)

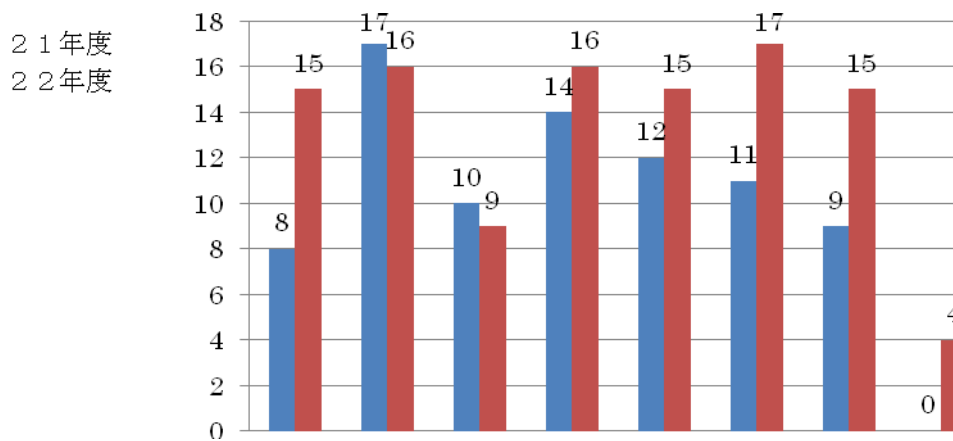


月別出火件数



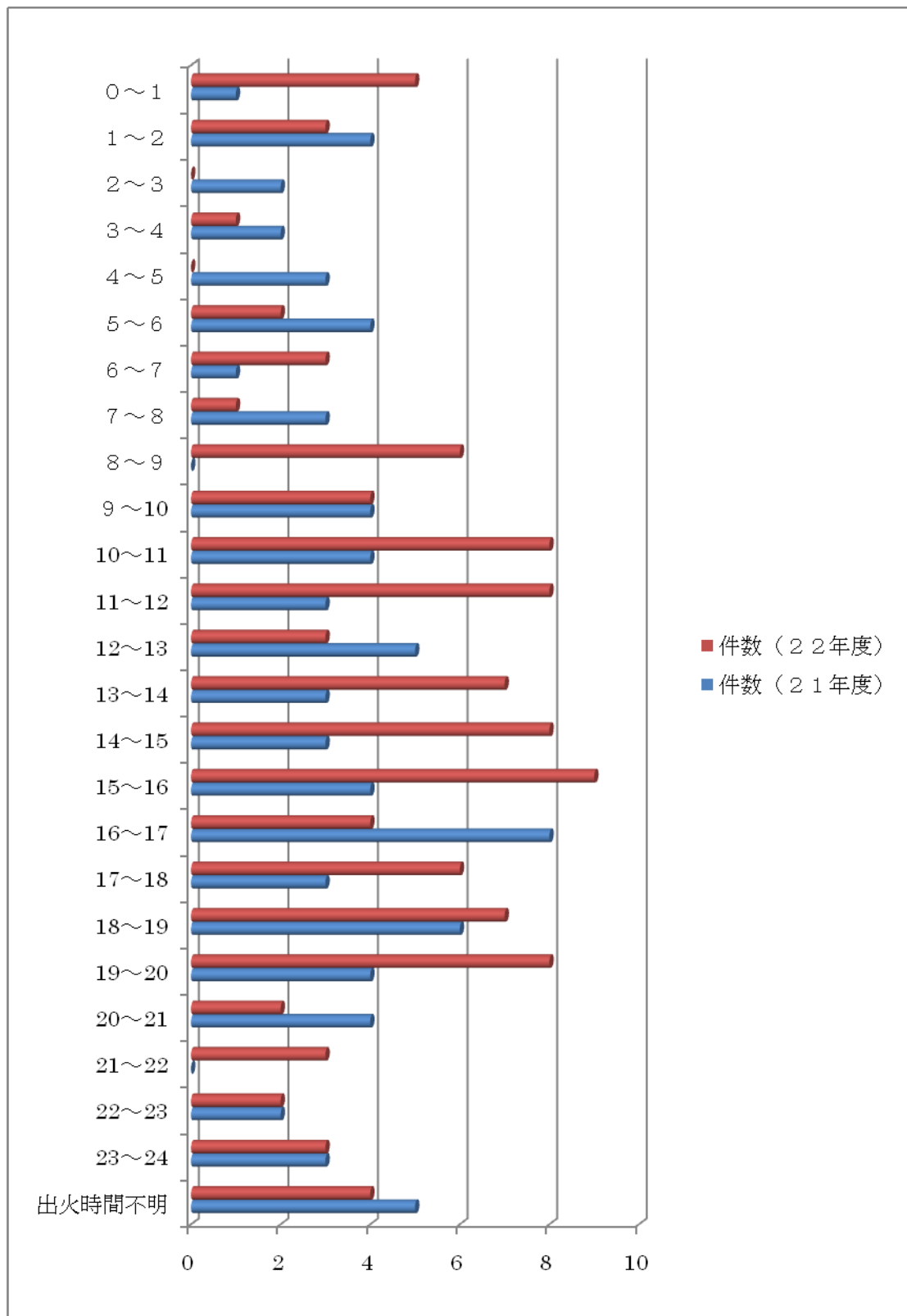
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
21年度	12	9	8	8	3	6	6	7	5	6	10	1
22年度	5	13	3	12	6	10	1	4	6	19	9	19

曜日別出火件数

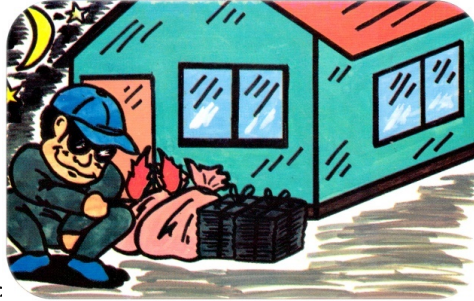


	日	月	火	水	木	金	土	不明
21年度	8	17	10	14	12	11	9	0
22年度	15	16	9	16	15	17	15	4

時間別出火件数



主な出火原因 (平成22年度)



①放火（疑いを含む） 20件



②たき火 13件



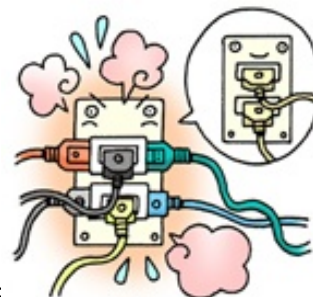
③不明 10件



④たばこ 7件



⑤こんろ 5件



⑥配線器具 5件

危険物

危険物は第1類から第6類までに区分されています。このうち石油類を中心とした第4類の危険物が大半を占めており、1,170危険物施設のうち第4類を貯蔵し、又は取扱う危険物施設が、1,133施設で96.8%に及んでいます。

これらの危険物施設においては危険物取扱資格者以外の者は、甲種又は乙種危険物取扱者の立会いがなければ危険物を取扱うことができないため、従業員全員が危険物取扱者免状を取得するよう指導しています。

平成22年度危険物取扱者試験合格者数

(筑西会場)

第1回		第2回	
総受験者数	457人	総受験者数	480人
総合格者数	162人	総合格者数	188人
甲種	13人	甲種	19人
乙種	94人	乙種	124人
丙種	3人	丙種	3人
その他	52人	その他	42人

(県全体)

総受験者数	8,830人
総合格者数	3,464人
甲種	338人
乙種(第4類)	1,831人
丙種	112人

危険物規制対象数

（平成 23 年 3 月 31 日現在）

区分		施設数	設置許可施設	完成検査済証交付施設
数量別	5 倍以下		413	413
	5 倍を超え 10 倍以下		279	279
	10	50	256	256
	50	100	96	95
	100	150	42	42
	150	200	31	31
	200	1,000	51	51
	1,000	5,000	2	2
	5,000	10,000	1	1
	10,000 倍を超えるもの			
	合 計		1171	1170
種別	単独	第 1 類	2	2
		第 2 類	3	3
		第 3 類	1	1
		第 4 類	1134	1133
		第 5 類	7	7
		第 6 類	2	2
	混 在		22	22
	合 計		1171	1170

市別危険物施設数

(平成23年3月31日現在)

製造所等別		市別	筑西市	結城市	桜川市	合 計
			9	2	3	14
貯蔵所	屋 内		106	56	28	190
	屋外タンク		144	12	29	185
	屋内タンク		6		7	13
	地下タンク		97	51	42	190
	簡易タンク		1	1		2
	移動タンク		80	25	9	114
	屋 外		16	5	21	42
取扱所	給 油		124	49	53	226
	第一種販売				1	1
	一 般		122	43	28	193
合 計			705	244	221	1170

危険物施設立入検査状況

(平成23年3月31日現在)

製造所等別		区分	査察件数		査察人員	
		施設数	回数	1 件あたり	述べ	1 件あたり
製 造 所		14	13	0.93	15	1.07
貯蔵所	屋 内	190	105	0.55	294	1.55
	屋外タンク	185	142	0.77	360	1.95
	屋内タンク	13	10	0.77	27	2.08
	地下タンク	190	128	0.67	386	2.03
	簡易タンク	2	3	1.50	6	3.00
	移動タンク	114	106	0.93	285	2.50
	屋 外	42	24	0.57	68	1.62
小計		750	531	0.71	1441	1.92
取扱所	給 油	226	186	0.82	599	2.65
	第一種販売	1	1	1.00	3	3.00
	一 般	193	150	0.78	406	2.10
小計		420	337	0.80	1008	2.40
合 計		1170	868	0.74	2449	2.09

建築確認同意事務処理件数

(平成22年度)

種 別	新 築	増 築	改 築	その他	合 計
筑西市	1 5 4	1 3	1	1	1 6 9
結城市	8 7	5	1	3	9 6
桜川市	4 6		1	1	4 8
合 計	2 8 7	1 8	3	5	3 1 3

火災予防条例等に基づく届出状況

(平成22年度)

市 別 項 目	合 計	筑 西 市	結 城 市	桜 川 市
圧縮アセチレンガス	7	5	2	
液化石油ガス貯蔵取扱	7 0	2 2	4 5	3
喫煙・裸火使用、危険物品持込	1 9	1	1 8	
防火対象物使用開始	8 0	4 7	2 4	9
炉、かまど、ボイラー乾燥設備	1 5	7	6	2
ネオン管灯設備				
発電、変電、蓄電池設備	3 7	2 1	1 2	4
水素ガス充てん気球				
火災とまぎらわしい行為の届出	1 7 8	1 0 9	2 5	4 4
煙火打ち上げ	1 5 5	4 0	2 4	9 1
催物開催	8	6	2	
水道断減水				
道路工事	3 0 9	9 0	1 6 0	5 9
少量危険物貯蔵取扱	1 6	3	4	9
指定可燃物貯蔵取扱	9	4	3	2
合計	9 0 3	3 5 5	3 2 5	2 2 3

広域圏内中・高層建築物状況

(平成23年3月31日現在)

防火対象物			階数	計	4	5	6	7	8	9	10
1	イ	劇場・映画館・演芸場等		0							
	ロ	公会堂・集会場		2	2						
2	イ	キャバレー・ナイトクラブ等		0							
	ロ	遊技場・ダンスホール		0							
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗等									
	ニ	カラオケボックス等		0							
3	イ	待合・料理店類		0							
	ロ	飲食店		2	2						
4		百貨店・マーケット・店舗等		1	1						
5	イ	旅館・ホテル・宿泊所		13	5	1	2	3	1		1
	ロ	寄宿舍・下宿・共同住宅		41	17	23				1	
6	イ	病院・診療所・助産所		6	3	2	1				
	ロ	社会福祉施設（入所施設）		1		1					
	ハ	社会福祉施設（通所施設）		0							
	ニ	幼稚園・盲学校・養護学校等		1	1						
7		小・中・高・大・各種学校類		24	23	1					
8		図書館・博物館類		0							
9	イ	公衆浴場のうち熱気浴場類		0							
	ロ	イ以外の公衆浴場		0							
10		車両の停車場等		0							
11		神社・寺院・教会類		0							
12	イ	工場・作業場		13	9	2	2				
	ロ	映画・テレビスタジオ		0							
13	イ	自動車車庫・駐車場		1			1				
	ロ	飛行機の格納庫等		0							
14		倉庫		0							
15		前各項に該当しない事業場		17	9	6	2				
16	イ	特定の複合用途防火対象物		30	18	8	2	1			1
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物		5	5						
17		重要文化財・重要民族資料館		0							
合 計				157	95	44	10	4	1	1	2

防火対象物数及び立入検査状況

(平成23年3月31日現在)

防火対象物			区分	防火対象物	立入検査回数	1施設あたり 立入検査回数
1	イ	劇場・映画館・演芸場等		5	7	1.40
	ロ	公会堂・集会場		207	96	0.46
2	イ	キャバレー・ナイトクラブ等		1	0	0.00
	ロ	遊技場・ダンスホール		24	23	0.96
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗等		0	0	0
	ニ	カラオケボックス等		7	8	1.14
3	イ	待合・料理店等		23	16	0.70
	ロ	飲食店		116	65	0.56
4		百貨店・マーケット・店舗等		297	213	0.72
5	イ	旅館・ホテル・宿泊所等		43	28	0.65
	ロ	寄宿舍・下宿・共同住宅		630	155	0.25
6	イ	病院・診療所・助産所		130	85	0.65
	ロ	社会福祉施設（入所施設）		73	105	1.44
	ハ	社会福祉施設（通所施設）・保育所		89	49	0.55
	ニ	幼稚園・盲学校・養護学校等		43	26	0.60
7		小・中・高・大・各種学校等		258	74	0.29
8		図書館・博物館等		7	7	1.00
9	イ	公衆浴場のうち熱気浴場等		0	0	0
	ロ	イ以外の公衆浴場		2	0	0.00
10		車両の停車場等		4	0	0.00
11		神社・寺院・教会等		49	17	0.35
12	イ	工場・作業場		1422	442	0.31
	ロ	映画・テレビスタジオ		0	0	0
13	イ	自動車車庫・駐車場		44	9	0.20
	ロ	飛行機の格納庫等		0	0	0
14		倉庫		700	189	0.27
15		前各項に該当しない事業場		706	202	0.29
16	イ	特定の複合用途防火対象物		229	179	0.78
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物		63	20	0.32
17		重要文化財・重要民俗文化財等		45	36	0.80
計				5217	2051	0.39

広報活動実施状況

(平成22年度)

種 別 \ 署 別	計	筑西消防署	関城分署	明野分署	協和分署	結城消防署	桜川消防署	真壁分署	大和分署
防火映画会	44	37	2				4		1
防火座談会	174	122	2			7	33		10
防火指導	201		19	25	23	67	33	24	10
署所見学	74	58	1	1		9	3	1	1
その他の広報	7	7							
広報設備による広報 (広報車含む)	129	34	2	16	6	28	37	2	4
広報用印刷物の配布	45	4	5	4	14	4	6	2	6
合 計 (回)	674	262	31	46	43	115	116	29	32

甲種防火管理者資格取得講習

(平成22年度)

実施年月日	受講申込者	受講者数	修了証交付数
平成22年10月21日・22日	144人	136人	136人

甲種防火管理者再講習

(平成22年度)

実施年月日	受講申込者	受講者数	修了証交付数
実施なし			

民間防火組織等外郭団体結成状況

1 防火クラブ

(平成23年3月31日現在)

区分 市別	婦人防火クラブ		幼年消防クラブ		少年消防クラブ	
筑西市	3団体	133名	15団体	548名	11団体	506名
結城市	1団体	26名	7団体	149名	1団体	13名
桜川市	1団体	23名	6団体	631名	6団体	155名
小計	5団体	182名	28団体	1328名	18団体	674名
合計	51クラブ		2,184名			

2 危険物安全協会

(1) 筑西市危険物安全協会	会員事業所数	218
(2) 結城市危険物安全協会	会員事業所数	98
(3) 桜川市危険物安全協会	会員事業所数	72
合 計		401

3 防火管理協議会

筑西広域防火管理協議会	会員事業所数	483
-------------	--------	-----

防 火 ビ デ オ 一 覧 表

番号	購入年度	題 名	時 間	提 供
1	S 6 3 年	関東大震災の秘話、東京壊滅		日本防災協会
2	"	防火の輪を広げる		(財)日本防火協会
3	"	老人ホームの防火訓練の実験	2 0 分	
4	H 元 年	あなたと防災	"	(財)日本防災協会
5	"	第 1 3 回婦人防火全国大会		
6	H 2 年	わたしたちの防火	3 5 分	(財)日本防火研究普及協会
7	"	ケンちゃんと防災家族	1 8 分	(財)日本防災協会
8	"	防火の決めて（心の用心・火の用心）	2 0 分	筑西広域防火管理協議会
9	"	猛煙からの脱出	"	"
10	H 3 年	ホテル旅館・防火管理の知識		(株)映像センター
11	"	大型店舗・防火管理の知識		"
12	"	うっかり家の人々（住宅防火）	2 0 分	(社)日本損保協会
13	H 4 年	うっかり町は大騒ぎ（住宅防火）	"	"
14	"	台風災害への備え	2 2 分	(株)読売映
15	"	もしも、そのとき、火災を科学する	3 0 分	(財)日本防火研究普及協会
16	"	高層住宅火災から生命を守る	1 7 分	三危安協会
17	H 5 年	火災！あなたの工場は大丈夫？	3 7 分	三井海上火災保険(株)
18	"	うっかり町の屋根の下（住宅防火）	2 5 分	(社)日本損保協会
19	"	レッツゴーなかまたち！	1 5 分	筑西広域防火管理協議会
20	"	ドラマでわかる初期対応	2 6 分	三危安協会
21	H 6 年	あなたのお宅は安心ですか？	1 8 分	(財)日本防災協会
22	"	住宅火災から学ぶ	2 5 分	(社)日本損保協会
23	"	屋外貯蔵タンクの設置と安全性	2 9 分	危険物保安技術協会
24	H 7 年	危険物の安全な容器と運搬	2 3 分	"
25	"	住宅火災、あなたの家は大丈夫？	2 0 分	(社)日本損保協会
26	H 8 年	放火対策と防災製品	1 7 分	(財)日本宝くじ協会
27	"	少年消防クラブ フレンドシップ 9 6		
28	"	給油取扱所の安全を築く		
29	"	家族 d e 防火	2 0 分	(社)日本損保協会
30	"	防災物品はどのくらい燃えにくいのか	2 5 分	(財)日本防災協会
31	"	チロリン村、トンクルピーじしんようじん	1 1 分	(財)日本防火協会
32	"	危険物の安全を担って 2 0 年	3 0 分	危険物保安技術協会
33	H 9 年	考えよう事業所の地震安全策	3 0 分	"
34	"	みんなで防災、地震から家族や地域を守るために		
35	"	家族でガッテン住宅防火（3本）	2 5 分	住宅防火対策推進協議会
36	"	たっちゃん、ももちゃんのふしぎなたいけん	1 5 分	筑西広少婦防委員会
37	"	ミニ・アラーム作動確認ビデオ	1 分	
38	"	イナージェンガス消火システム		日昭・林テクノス(株)
39	"	防火安全を希求して消防機器の検定	2 0 分	日本消防検定協会
40	"	スプリネックス パッケージ型自動消火設備		(株)ナショナル消防科学

防 火 ビ デ オ 一 覧 表

番号	購入年度	題 名	時 間	提 供
41	H 9 年	スプリネックス パッケージ型自動消火設備		ユージー株式会社
42	"	スプリネックス資料		"
43	H 1 0 年	ご注意"身近な危険物	2 9 分	危険物保安技術協会
44	"	火災から職場を守るには	1 7 分	筑西広域防火管理協議会
45	"	ズバリ！職場で進める地震対策	2 1 分	"
46	"	アニメーハチ公物語	1 8 分	"
47	"	火災原因調査の進め方 1	2 3 分	消防本部
48	"	電気火災の鑑識 2	1 8 分	"
49	"	アニメーション レスキューQ太のかつやく	1 5 分	(財)日本防火協会
50	H 1 1 年	セルフスタンド ～ルールを守って安全に～	2 9 分	危険物保安技術協会
51	"	「マグニチュード」	9 0 分	(財)日本防火協会
52	"	微小火源火災 3	2 3 分	消防本部
53	"	化学火災 4	2 2 分	"
54	H 1 2 年	お年寄り・障害のある人を守る防火・防災対策	2 1 分	筑西広域防火管理協議会
55	"	はれときどきぶたの地震用心日記	1 1 分	"
56	"	万物創世記	4 5 分	消防本部
57	"	よくわかる単独荷卸しのポイント	3 0 分	危険物保安技術協会
58	H 1 3 年	「わたしたちの街はわたしたちが守る」	3 0 分	茨城県
59	"	忍たま乱太郎の地震用心・火の用心	1 1 分	筑西広域防火管理協議会
60	"	大地震	4 2 分	"
61	"	奥サマは防災じょうず	1 8 分	"
62	"	特定屋外タンクの開放周期と内部点検のポイント	2 6 分	危険物保安技術協会
63	H 1 3 年	揺れる列島ー災害発生メカニズムー	2 0 分	筑西広域防火管理協議会
64	"	ホテル旅館・ビルの防災対策	1 6 分	"
65	"	よくわかる準特定屋外タンク貯蔵所の安全対策	3 1 分	危険物保安技術協会
66	H 1 4 年	忍たま乱太郎の消防隊	1 1 分	筑西広域防火管理協議会
67	"	火災の悲劇を防ぐー防火管理者の役割と責任ー	2 2 分	"
68	"	石油燃焼機器火災（火災原因調査ビデオ講座）	2 2 分	(財)消防科学総合センター
69	"	ガス燃焼機器火災（ " ）	2 0 分	"
70	"	自動車火災〔構造編〕（ " ）	2 7 分	"
71	"	自動車火災〔調査の進め方〕（ " ）	2 3 分	"
72	"	危険物の漏えいによる環境汚染を防ぐために	2 9 分	危険物保安技術協会
73	H 1 5 年	いのちを守る福祉施設火災の初期対応	2 3 分	三危安協・筑西防管協会
74	"	いのちを守る病院火災の初期対応	2 3 分	"
75	"	給油取扱所の安全を築く	3 2 分	"
76	"	危険物施設の腐食を防ぐ	3 0 分	"
77	"	ご存知ですか？一人で使える消火栓	5 分	消防防災課
78	"	危険物 6 つの扉 ～危険物の性状と消火の方法～	3 1 分	危険物保安技術協会
79	H 1 6 年	イザ！というときに役立つ 消防用設備等の取扱い	2 0 分	筑西広域防火管理協議会
80	"	自分のところは自分で守る 自衛消防訓練の実施	2 0 分	"

防 火 ビ デ オ 一 覧 表

81	H 1 6 年	ちびまるこちゃんの火の用心	1 4 分	筑西広域防火管理協議会
82	〃	ちびまるこちゃんの地震を考える	1 3 分	〃
83	〃	稲むらの火	2 1 分	〃
84	〃	ガソリンスタンドの火災防火対策	2 5 分	危険物保安技術協会
85	H 1 7 年	地震防災待ったなし！	2 1 分	三危安協・筑西防管協会
86	H 1 8 年	問われる防火責任者の責任	2 3 分	〃
87	〃	ハム太郎のとっとこ大事だ！！防災訓練	1 3 分	〃
88	〃	危険物施設の火災を防げ！	3 5 分	危険物保安技術協会
89	〃	事務所用途におけるスプリンクラー設備の検証実験	3 2 分	日本消防検定協会
90	H 1 9 年	屋外タンク貯蔵所の火災を防ぐ	3 0 分	危険物保安技術協会
91	〃	カルガモ親子の火の用心	1 3 分	三危安協・筑西防管協会
92	〃	火災から高齢者を守る	2 1 分	〃
93	H 2 0 年	セルフスタンドの安全対策	2 6 分	〃
94	〃	火あそびは火事のもと ケンタとニャンタの火の用心	1 3 分	DVD 〃
95	H 2 1 年	サル太郎地震には負けないぞ！	1 5 分	DVD 〃
96	H 2 2 年	火災事例から学ぶ 【店舗火災編】	4 4 分	DVD 日本防火・危機管理促進協会
97	H 2 2 年	第4類 危険物の火災事故を防げ！	3 0 分	DVD 危険物保安技術協会
98	H 2 3 年	みんなで考える 防火安全の知恵	4 2 分	DVD 日本防火・危機管理促進協会
99	H 2 3 年	火災！逃げ遅れを防げ！	2 1 分	DVD 三危安協・筑西防管協会
100	H 2 3 年	防火管理者の行動	2 3 分	DVD 筑西広域防火管理協議会
101	H 2 3 年	防火管理者の仕事	2 9 分	DVD 〃
102	H 2 3 年	共同防火管理の進め方	1 9 分	DVD 日本防火研究普及協会

防 火 フ ィ ル ム 一 覧 表

番号	購入年度	題 名	時 間	提 供
1	S 5 3 年	家庭の防火	1 9 分	下館市危険物安全協会
2	〃	みんなで考える火災と避難	2 4 分	〃
3	〃	危険物の取扱い	1 8 分	〃
4	S 5 4 年	あなたは大丈夫ですか「火災から命を守るために」	2 0 分	〃
5	S 5 5 年	家庭内の危険物の取扱い	1 8 分	〃
6	〃	危険物取扱者の責任	2 0 分	〃
7	S 5 6 年	地震と火災からわが町を守る	3 0 分	〃
8	〃	ある防火管理者の悩み	3 4 分	〃
9	S 5 7 年	ぼくは子像の消防隊	1 7 分	〃
10	S 5 8 年	工場防火を考える	2 5 分	〃
11	〃	天ぷら火災	1 6 分	〃
12	S 5 9 年	家庭内の防火「ガスの安全な使い方」	2 0 分	〃
13	〃	あられちゃん「ペンギン村の消防隊」	1 0 分	〃
14	S 6 0 年	炎と安全	2 2 分	〃
15	〃	コアラちゃんの消防隊	1 1 分	〃

防 火 フ ィ ル ム 一 覧 表

番号	購入年度	題 名	時 間	提 供
16	S 6 1 年	ゆれる大地「地震から生命を守る」	2 0 分	三 危 安 協 会
17	〃	危険物の安全管理	2 0 分	〃
18	〃	力を合わせて防火管理	2 0 分	〃
19	〃	1 1 9 ちゃん	1 6 分	〃
20	S 6 2 年	火災の恐怖から守れ老人と子供	1 5 分	〃
21	〃	キャプテン翼の消火作戦	1 0 分	〃
22	S 6 3 年	あなたならどうする（たばこの火の不始末）	1 6 分	〃
23	〃	ドラゴンボール悟空の消防隊	1 1 分	〃
24	H 元 年	しあわせ防災家族	2 1 分	〃
25	〃	スーパーマリオの消防隊	1 0 分	〃
26	〃	火の用心七つのポイント	2 0 分	筑西広域防火管理協議会
27	H 2 年	ニャンタの誕生日は火事さわぎ	1 1 分	三危安協会
28	〃	危険物火災をなくそう	2 0 分	〃
29	〃	防災シルバーシート	1 8 分	筑西広域防火管理協議会
30	H 3 年	どうぶつ村の地震用心火の用心	1 6 分	三危安協会
31	〃	火災その時あなたは	2 0 分	〃
32	〃	知っておきたい応急手当	2 2 分	筑西広域防火管理協議会
33	H 4 年	煙火災と有毒ガス	1 9 分	三危安協会
34	〃	危険がいっぱいーわが家の事故防止対策ー	2 1 分	筑西広域防火管理協議会
35	H 5 年	ファイヤーロボ、1 1 9 対キョンシーキョン太	1 6 分	三危安協会
36	H 6 年	しまじろうの消防隊	1 0 分	三危安協
37	〃	火災から命を守るために	1 0 分	筑西広域防火管理協議会
38	H 7 年	僕はあの日を忘れない	2 4 分	三危安協・筑西防管協会
39	H 8 年	染井家の火の用心	1 6 分	〃
40	H 9 年	こぎつねの消防隊	1 7 分	〃
41	H 1 0 年	ゴマちゃんの大ピンチ	1 4 分	〃
42	H 1 1 年	いざ！という時の初期消火	2 3 分	〃
43	H 1 2 年	火災から職場を守るには	1 7 分	〃
44	H 1 3 年	キョロちゃんの地震用心火の用心	1 1 分	〃

警 防 関 係

平成22年度消防本部業務重点施策 「安全で安心なまちづくり」

警防部門

(1) 現場指揮体制の充実強化

複雑多様化する災害現場の安全管理の徹底を図るため、消防本部指揮隊を設置し、災害対応力の強化及び部隊運用能力の向上を図る。

(2) 救急・救助体制の充実強化

救急業務の高度化に伴う指示・指導体制の構築、事後検証会、救命士再教育等の充実を図り、救急隊員の資質及び救命率の向上を図る。

救助工作車の更新により、高度救助資機材、テロ対策用特殊資機材を駆使し、複雑多様化する各種災害に対応できるよう想定訓練を実施し、高度救助隊の発足を目指す。

(3) 警防戦術の向上と技術の伝承

基本的な資機材の取扱い訓練と想定訓練を実施し、警防戦術の向上を図るとともに大量退職者に備え、各種技術を伝承し、警防技能管理基準により警防力の強化を目指す。

警防分野について

広域消防の再編が検討されるなか、消防広域応援体制をはじめとし、あらゆる災害に対応するため、初動出動体制の整備充実を図り、圏域住民が安心して暮らせるよう消防・防災対策を推進していかなければなりません。

消防機関としても、特殊災害に対応するための危機管理システムを構築し、住民の防災意識の啓発に努め、災害に強い圏域づくりをめざしています。

救急業務においては、消防機関と医療機関の連携体制を強化し、傷病者の状況に応じた適切な搬送及び受入れ体制を構築するとともに、運用開始されたドクターヘリ及びドクターカー等を有効活用し、圏域住民の更なる救命率の向上を目指していきます。



(交通事故救出訓練)

消防学校等入校状況

(平成22年度)

教 養 区 分			階 級	合 計	消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士
消 防 大 学 校	専 科 教 育	予 防 科		1					1			
研 修 所 (東京)		救 急 救 命 士		2						2		
消 防 学 校	初 任 教 育	初 任 科		10								10
	専 科 教 育	火 災 調 査 科		2					2			
		救 急 科		8								8
		救 助 科		2					1	1		
		特 殊 災 害 科		2					2			
		初 級 幹 部 科		1						1		
		危 険 物 科		2						2		
	特 別 教 育	薬 剤 投 与 講 習 会	学 校	2					2			
			北九州	2				1		1		
		潜 水 講 習 会		1							1	
		操 法 指 導 者 講 習 会		3					1	2		
合 計			38				1	9	9	1	18	

教 養 訓 練 の 実 施 状 況

(平成22年度)

種 別 \ 署 別	計	消 防 本 部	筑 西 消 防 署	筑 関 西 分 署	筑 明 野 分 署	筑 協 和 分 署	結 城 消 防 署	桜 川 消 防 署	桜 真 壁 分 署	桜 大 和 分 署
救 命 講 習 会	177		71	8	4	6	57	15	14	2
職 場 教 養	2,651	1	350	345	305	322	311	340	336	341
操 法 訓 練	166		92			7	4	21	30	12
模 擬 火 災 訓 練	182		16	24	32	14	24	24	24	24
体 力 訓 練	1,942		250	327	212	202	21	310	305	315
救 助 訓 練	635	1	260	11		19	272	24	24	24
署 外 訓 練 指 導	402		142	19	20	6	155	33	12	15
合 計	6,155	2	1,181	734	573	576	844	767	745	733

消 防 水 利 の 現 況

(平成22年度)

種 別 \ 市 別	計	防 火 水 槽		私 設 防 火 水 槽	消 火 栓		プ ー ル	貯 水 池 等	基 準 数	充 足 率
		20m ³ 級	40m ³ 以上		公 設	私 設				
筑西市	3,061	259	746	89	1,939		27	1	2,823	108.4%
結城市	1,330	33	233	82	949	19	14	0	1,174	113.3%
桜川市	1,333	55	318	55	832	2	16	55	1,451	91.9%
合 計	5,724	347	1,297	226	3,720	21	57	56	5,448	105.1%

救 急 業 務 に つ い て

私達の生活の中で偶発的に発生する事故、怪我、病気これに対応するのが救急業務です。
小さい怪我から生命にかかわる大事故まで、その内容は多種多様にわたります。

さて、平成22年度中の広域圏内の救急活動状況を見ると、出場件数は7,417件で搬送人員については、6,873人に上ります。これは広域圏内ではおよそ1日19件、圏内住民30人に1人が救急隊によって搬送されたことになります。

次に事故種別搬送人員で見ると、急病が一番多く4,107人と全体の59.7%を占めています。これに交通事故1,032人(15.0%)、転院搬送808人(11.7%)と続いています。

広 域 圏 内 救 急 件 数

(平成22年度)

事故種別 区分	計	火 災	自然 災害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他				不 搬 送
												転 院 搬 送	医 師 搬 送	資 材 搬 送	そ の 他	
出場件数	7,417	12	1	2	1,020	83	24	765	41	81	4,535	811	1		41	662
搬送件数	6,755	6	1	2	921	78	24	703	34	63	4,106	807	1		9	
搬送人員	6,873	7	1	2	1,032	78	24	704	36	63	4,107	808			11	

広 域 圏 内 覚 知 別 出 場 件 数

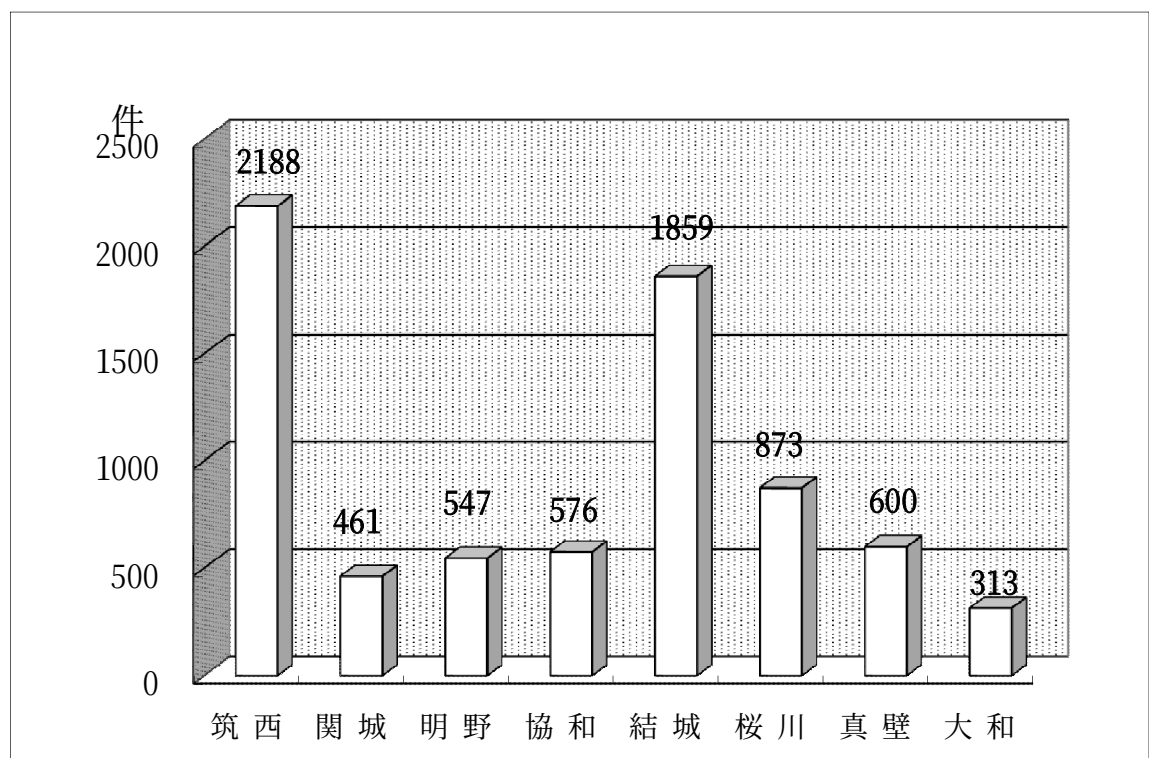
(平成22年度)

事故種別 区分	計	火 災	自然 災害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他				不 搬 送
												転 院 搬 送	医 師 搬 送	資 材 搬 送	そ の 他	
携帯119	1,793	2			542	26	16	197	18	23	957	6			6	215
固定119	4,342	6			195	52	8	496	12	35	3,180	345			13	354
加入電話	978			1	234	3		39	7	18	223	447			6	53
駆け付け	144		1		10	2		21	4	4	101	1				3
その他	160	4		1	39			12		1	74	12	1		16	37
合 計	7,417	12	1	2	1,020	83	24	765	41	81	4,535	811	1		41	662

各 署 別 ・ 月 別 救 急 出 場 件 数

(平成22年度)

月別 署別	計	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
筑西	2188	178	178	165	201	194	166	161	181	184	219	163	198
関城	461	35	37	40	48	41	30	39	40	33	44	28	46
明野	547	38	46	35	61	57	49	30	39	42	57	35	58
協和	576	36	42	48	55	47	34	43	50	49	62	49	61
結城	1859	135	157	129	154	172	141	139	149	170	174	153	186
桜川	873	70	60	54	79	85	76	64	83	74	91	62	75
真壁	600	48	41	51	58	49	52	51	40	50	51	42	67
大和	313	24	23	20	32	32	23	27	26	28	22	23	33
合 計	7417	564	584	542	688	677	571	554	608	630	720	555	724



年 齢 区 分 別 ・ 傷 病 程 度 別 搬 送 人 員

(平成22年度)

年齢区分 傷病程度	計	新生児	乳幼児	少年	成人	老人
		生後28日以内	29日～7歳未満	7～18歳未満	18～65歳未満	65歳以上
死 亡	190		1		34	155
重 症	826	5	3	12	230	576
中等症	2,831	20	74	77	968	1,692
軽 症	3,018	2	272	234	1,507	1,003
その他	8	1			5	2
合 計	6,873	28	350	323	2,744	3,428

事 故 種 別 ・ 傷 病 程 度 別 搬 送 人 員

(平成22年度)

事故種別 傷病程度	計	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
死 亡	190				14	2		7		6	158	3
重 症	826	1			48	16	1	86		8	457	209
中等症	2,831	1		1	168	35	5	208	6	29	1,847	531
軽 症	3,018	5	1	1	802	25	18	403	30	19	1,641	73
その他	8									1	4	3
合 計	6,873	7	1	2	1,032	78	24	704	36	63	4,107	819

過 去 5 年 間 の 救 急 状 況

(平成22年度)

年度別 事故種別		計	火	自	水	交	労	運	一	加	自	急	そ	一
			災	然	難	通	働	動	般	害	損	病	の	日
H18	出場件数	6,894	13		2	1115	61	33	697	39	112	3977	845	18.9
	搬送人員	6,581	11			1268	60	31	671	29	78	3619	814	18.0
H19	出場件数	6,981	17		3	1046	81	36	743	45	109	4077	824	19.1
	搬送人員	6,513	14		1	1092	75	36	692	41	71	3703	788	17.8
H20	出場件数	6,916	18		3	1039	83	38	749	30	101	4068	787	18.9
	搬送人員	6,415	13		1	1095	80	39	702	23	61	3653	748	17.6
H21	出場件数	6,776	9		5	981	62	39	736	39	101	4005	799	18.5
	搬送人員	6,290	5		3	1032	61	38	683	37	64	3604	763	17.2
H22	出場件数	7,417	12	1	2	1020	83	24	765	41	81	4535	853	20.3
	搬送人員	6,873	7	1	2	1032	78	24	704	36	63	4107	819	18.8

救 助 出 動 状 況

(平成22年度)

出場件数	火災	交通事故	水難事故	機械事故	建物事故	その他の事故
227	52	124	4	6	3	38

(平成22年度)

出場車両数	火災	交通事故	水難事故	機械事故	建物事故	その他の事故
723	301	273	21	22	8	98

高 速 道 救 急 件 数

北関東自動車道路(桜川・筑西IC～笠間西IC／桜川・筑西IC～真岡IC)

(平成22年度)

区 分	交通事故	急 病	そ の 他	合 計
出 場 件 数	7	1	1	9
搬 送 人 員	7	1	0	8

警 防 ビ デ オ 一 覧 表

No.	題 名	No.	題 名
1	救急技術 1 (心肺蘇生)	19	新しい応急処置の理論と実際 IV 在宅医療継続中の傷病者の搬送上の留意事項等
2	救急技術 2 (頭部外傷)		
3	救急技術 3 (頸部・脊椎・脊椎外傷)	20	救急救命処置の理論と実際 Vol, 1 器具を用いた気道確保と人工呼吸
4	救急技術 4 (胸部外傷)		
5	救急技術 5 (腹部外傷)	21	救急救命処置の理論と実際 Vol, 2 半自動式除細動器による除細動 (乳酸加リンゲル液を用いた静脈確保)
6	救急技術 6 (骨盤・四肢外傷)		
7	救急技術 7 (多発外傷)		
8	救急技術 8 (熱傷)	22	救急救命処置の理論と実際 Vol, 3 救急救命処置の活動要領
9	救急技術 9 (救急資機材の使用法)		
10	応急処置 1 (人工呼吸と心臓マッサージ)	23	『応急手当指導者教育ビデオ』 自信のもてる指導法(講習会の心構えと話し方)
11	応急処置 2 (骨折・脱臼等の処置と搬送)		
12	応急処置 3 (創傷とその処置・止血法)	24	5分間の重み 1 (応急手当が貴重な命を救う)
13	応急処置 4 (包帯法)		
14	応急処置 5 (熱傷・凍傷・感電と処置) 半自動式除細動器による除細動 (乳酸加リンゲル液を用いた静脈路確保の輸液)	25	5分間の重み 2 (応急手当が貴重な命を救う)
		26	勇気を出して! 応急手当・救急車が来る前に
15	応急処置 6 (脳貧血・日射病・熱射病)	27	外出先で地震にあったら!
16	新しい応急処置の理論と実際 I 血圧計、聴診器及びパルスオキシメータの使用方法、適応症例等	28	備えあれば憂いなしー地震防災対策一
		29	大地震 日頃の備えが身を守る (防災マニュアル・阪神大震災の教訓)
17	新しい応急処置の理論と実際 II 心電図、心電図伝送装置、喉頭鏡、マギール鉗子及び経鼻エアウェイの使用法等 (乳酸加リンゲル液を用いた静脈確保)	30	目で見る救急業務
		31	平成8年度総合防災訓練の記録 ・東海地震対応訓練 ・南関東地域直下の地震対応訓練
18	新しい応急処置の理論と実際 III ショックパンツ、自動式心マッサージ器の使用方法、適応症例等	32	地震だ! 火を消せ!! 防災知識啓発ビデオ
		33	重症喘息発作のプレホスピタルケア (胸部外傷部圧迫法による呼吸補助法)
		34	自主防災組織の救助訓練用ビデオ

消防ポンプ自動車等の現勢 (1)

(平成23年4月1日現在)

所属	車両別	機械区分		排気量 (cc)	車名	配置年月	備考
		種別	型式				
消防本部	指揮車	普通乗用車	CBF-TRH226K	2,693	トヨタ	H.22.03	
	水槽付ポンプ車	1-A型A2級	U-CM87BE改	6,920	日産	H.02.09	積載水 1,500ℓ
	連絡車	普通乗用車	DAA-ZVW30	1,797	トヨタ	H.22.02	
	連絡車	普通乗用車	E-AT190	1,580	トヨタ	H.06.10	
	連絡車	普通乗用車	DBA-KGC10	990	トヨタ	H.20.06	肥田氏寄贈
	火災原因調査車	普通乗用車	E-TD01W改	1,590	スズキ	H.07.03	
	マイクロバス	キャブオーバー	U-HDB851	4,160	トヨタ	H.05.10	
筑西消防署	普通ポンプ車	CD1-A2級	U-NKR58E2N改	3,630	イスズ	H.04.11	
	災害対応特殊水槽付消防ポンプ車	1-A型A2級	KK-FD1JEDA改	7,960	日野	H.14.12	積載水 1,500ℓ
	救助工作車	III型	BDG-GX7JGWA	6,403	日野	H.23.01	救助資機材一式
	化学車	II型-A2級	KK-GD1JGDA改	7,960	日野	H.11.12	積載水 1,500ℓ 消火薬剤 500ℓ
	梯子車	38m-A2級	KC-PR4FPDF	20,780	日野	H.08.11	
	水槽車	II型小型ポンプ付	KL-FS4FRHA	20,780	日野	H.14.12	積載水 10,000ℓ
	搬送車	普通トラック	KK-XZU421	4,890	トヨタ	H.13.10	3.5t・クレーン付
	災害対応特殊救急車	高規格	TC-VCH38S	3,370	トヨタ	H.18.03	
	防火指導車	普通ライトバン	UA-WFY11	1,490	日産	H.16.11	
	指令車	普通ライトバン	E-W10改	1,830	日産	H.07.07	
	広報車	ステーションワゴン	DBA-Y12	1,490	日産	H.19.03	
	査察車	普通乗用車	E-EG8	1,490	ホンダ	H.07.09	関彰商事(株)寄贈
関城分署	水槽付ポンプ車	1-A型A2級	J07E〈J7-V〉	6,403	日野	H.18.03	積載水 1,500ℓ
	救急車	2B型	GA-RZH133S	2,430	トヨタ	H.10.03	
	指令車	普通ライトバン	GF-WFY11	1,490	日産	H.13.06	
明野分署	水槽付ポンプ車	1-A型A2級	J07E〈J7-V〉	6,403	日野	H.18.03	積載水 1,500ℓ
	災害対応特殊救急車	高規格	CBF-TRH226S	2,690	トヨタ	H.21.11	
	指令車	普通ライトバン	UA-WFY11	1,490	日産	H.17.11	
協和分署	水槽付ポンプ車	1-A型A2級	ADC-FD7改	6,400	日野	H.19.03	積載水 1,500ℓ
	救急車	高規格	GB-VCH38S	3,370	トヨタ	H.10.03	
	指令車	普通ライトバン	UA-WFY11	1,490	日産	H.17.11	
川島出張所	普通ポンプ車	CD1-A2級	KC-NKR71GN	4,570	イスズ	H.10.03	
	災害対応特殊救急車	高規格	TC-VCH38S	3,370	トヨタ	H.16.10	

消防ポンプ自動車等の現勢 (2)

(平成22年4月1日現在)

所属	車 両 別	機械区分		排気量 (cc)	車名	配置年月	備考
		種別	型式				
結 城 消 防 署	普通ポンプ車	CD1-A2級	U-NKR66GN改	4,330	イスズ	H.07.03	
	水槽付ポンプ車	1-A型A2級	U-FRR32DBV改	7,120	イスズ	H.05.03	積載水 1,500ℓ
	救助工作車	II型	U-FK618GZW改	8,200	三 菱	H.07.02	
	化 学 車	II型-A2級	U-GD3HGAA改	7,410	日 野	H.03.12	積載水 1,500ℓ 消火薬剤 500ℓ
	梯子車	30m-A2級	U-PR2FNAF	17,230	日 野	H.05.12	
	災害対応特殊救急車	高規格	CBF-TRH226S	2,700	トヨタ	H.19.03	
	指 令 車	普通ライトバン	DBA-NZE141G	1,490	トヨタ	H.23.03	
	搬 送 車	普通貨物バン	KG-SR8F23	3,150	日 産	H.14.02	
南 出 張 所	水槽付ポンプ車	1-A型A2級	JO7E	7,960	日 野	H.17.03	積載水 1,500ℓ
	救 急 車	2B型	GA-RZH133S	2,430	トヨタ	H.10.09	
桜 川 消 防 署	災害対応特殊消防ポンプ車	CD1-A2級	BDG-XZU378M	4,000	日 野	H.19.03	積載水 600ℓ
	災害対応特殊水槽付消防ポンプ車	1-A型A2級	KK-FD1JEEA改	7,960	日 野	H.15.11	積載水 1,500ℓ
	災害対応特殊救急車	高規格	CBF-TRH226S	2,690	トヨタ	H.21.11	
	救 急 車	高規格	GE-VCH38S	3,370	トヨタ	H.12.11	
	指 令 車	普通ライトバン	UA-WFY11	1,490	日 産	H.15.10	
	山林パトロール車	普通乗用車	E-TD01W改	1,590	スズキ	H.07.03	山林火災用
真 壁 分 署	普通ポンプ車	CD1-A2級	KK-XZU371M	4,890	日 野	H.11.11	
	水槽付ポンプ車	1-A型A2級	JO7E	7,960	日 野	H.17.03	積載水 1,500ℓ
	災害対応特殊救急車	高規格	TC-VCH38S	3,370	トヨタ	H.15.11	
	指 令 車	普通ライトバン	UA-WFY11	1,490	日 産	H.15.10	
大 和 分 署	水槽付ポンプ車	1-A型A2級	KC-FD1JEBA改	7,960	日 野	H.10.10	積載水 1,500ℓ
	救 急 車	2B型	GE-VCH22S	3,370	トヨタ	H.14.01	
	指 令 車	普通ライトバン	E-RFNB14	1,490	日 産	H.09.09	

応 援 協 定 一 覧 表

協 定 先		締結年月日	応援協定の内容
消 防 本 部	芳賀地区広域行政事務組合消防本部	S.48.11. 1	火災・救急の災害
	小山市消防本部	S.48.11. 1	〃
	茨城西南地方広域市町村圏事務組合消防本部	S.54. 6. 6	〃
	石岡市消防本部	S.54. 6. 6	〃
	笠間市消防本部	S.54. 6.12	〃
	つくば市消防本部	S.54. 8. 1	〃
隣 接 市 町 村	栃 木 県 小 山 市	S.48.11. 1	火災・その他の災害
	栃 木 県 真 岡 市 (二宮)	〃	〃
	栃木県芳賀郡益子町	〃	〃
	栃木県芳賀郡茂木町	〃	〃
	笠 間 市	〃	〃
	石 岡 市 (八郷)	〃	〃
	つ く ば 市 (筑波)	〃	〃
	下 妻 市	〃	〃
	結 城 郡 八 千 代 町	〃	〃
広 域 圏 内 事 業 所	古 河 市 (三和)	〃	〃
	筑西消防署管内 10事業所	S.51. 7.10	人命救助を要する災害
	関城分署管内 6事業所	〃	〃
	明野分署管内 5事業所	〃	〃
	協和分署管内 1事業所	〃	〃
	結城消防署管内 26事業所	〃	〃
	桜川消防署管内 7事業所	〃	〃
警 察	真壁分署管内 5事業所	〃	〃
	筑 西 警 察 署	S.48. 5. 7	地震・台風・火災・救急・
	結 城 警 察 署	〃	通信施設
県	桜 川 警 察 署	〃	〃
	茨城県高速自動車道	H21. 3. 21	火災・救急及びその他の災害

通信指令関係

平成23年度消防本部業務重点施策

「安全で安心なまちづくり」

通信指令部門

(1) 通信指令業務の更なる充実強化

社会経済の発展に伴い住民生活の態様が大きく変貌している中、複雑多様化する各種災害時に対応するため、より迅速かつ確実な119番通報の対応やより機動的な初動体制及び情報通信網の構築を図り、円滑・効果的な通信指令業務の更なる充実強化を図る。

(2) 消防指令業務の共同運用と消防救急無線のデジタル化の共同整備推進

消防指令業務の共同運用と消防救急無線の共同整備を拡充し、県一本化に向けた整備促進を図る。

通 信 指 令 業 務 に つ い て

当消防本部では、高機能消防指令センター装置（Ⅱ型）を導入し、圏民からの１１９番通報の受付から災害種別の決定、出動隊の編成、現場指揮者等との連絡、指示、出動隊への情報提供等、各種災害に迅速・的確に対応するため、情報通信網の充実強化を図り、より高度化する災害等から圏民の生命・身体・財産を守り続けています。

この装置には、通報場所の特定が即時可能となる位置情報通知システムが導入されており、指揮車には、車載映像伝送システムを装備し、災害現場の動画映像が即時指令センターに伝送され、現場での効率的運用を図っています。

このことによって、従来から提供してきた消防行政サービスより高度で効率、効果的なサービス提供が可能となり、圏民生活の安全・安心の向上が図られています。

また、一人暮らしのお年寄りを対象とした「緊急通報システム」更に、聴覚障害者専用１１９番受信ＦＡＸについても関係行政機関との連携のもとに通信指令室に集約し、一人暮らしのお年寄りや聴覚障害者等の突発的な災害や病気等の緊急通報に対応しています。

安 心 し て 暮 ら せ る 街 に ・ ・ ・

最新鋭のシステムが２４時間皆様の暮らしを見守ります。



（消防本部通信指令室）

通 信 施 設 一 覧 表

(平成23年4月1日現在)

品 名	形式又は内容	数 量
指令装置		
指令台（主席・副席）	HA-820D	2台
指揮台	HA-830D	1台
録音装置		
長時間録音装置	VR-464	1台
メモカセット	IR-300	6台
指令制御装置	HA-820C	1式
非常用指令設備	HA-HAM01A	1式
署所端末装置	各署所用	10式
表示盤		
総合情報表示盤	HDP29	1画
病院運用表示盤	70インチプロジェクター	1画
車用運用表示盤	LDT42IV	2画
幹部出退表示盤	HDP29	2画
汎用表示盤	50PDP	1画
無線統制台		
無線統制台	RC-6072DA	9面
自動出場指定装置	指令台組み込み	3式
無停電電源装置	FBI-SAU502	2台
指令電送出力装置		
指令電送送信装置	センター用パソコン	1式
指令電送出力装置	各署所用パソコン	10式
地図等検索装置		
地図検索処理装置	指令台組み込み	3式
地図入力装置（スキャナー）	ES-7000H	1式
地図出力装置（プリンター）	LD-S5000	1式
気象情報収集装置		
気象観測装置		1式
車両動態表示装置		
車載動態登録装置		46台
外部操作盤		22台
発信地表示システム		
音声合成装置		
音声合成装置	主席・副席・指揮台	1式
順次指令装置	ARS-702F	1式
災害状況等自動案内装置	TK-D38	1式
携帯・IP位置情報接続装置		1式
ファクシミリ装置（聴覚障害者対応）		1式
（消防業務用）		1式
無線設備		
基地局無線装置	単信・複信	6台
前進基地局無線装置	単信・複信	3台
無線回線自動選択装置	統制台組み込み	1台
無線受令機	CR-527	10台
車載無線機	単信・複信	46台
携帯活動無線		11台
可搬型無線機		6台
静止画伝送表示装置	HF-100HF-200KA	1式
サイレン吹鳴装置		3台
放送設備		
庁舎放送設備		1式
署（分署）出張所放送設備		9式
車載映像伝送システム装置		1式

消 防 無 線 装 置

(平成23年4月1日現在)

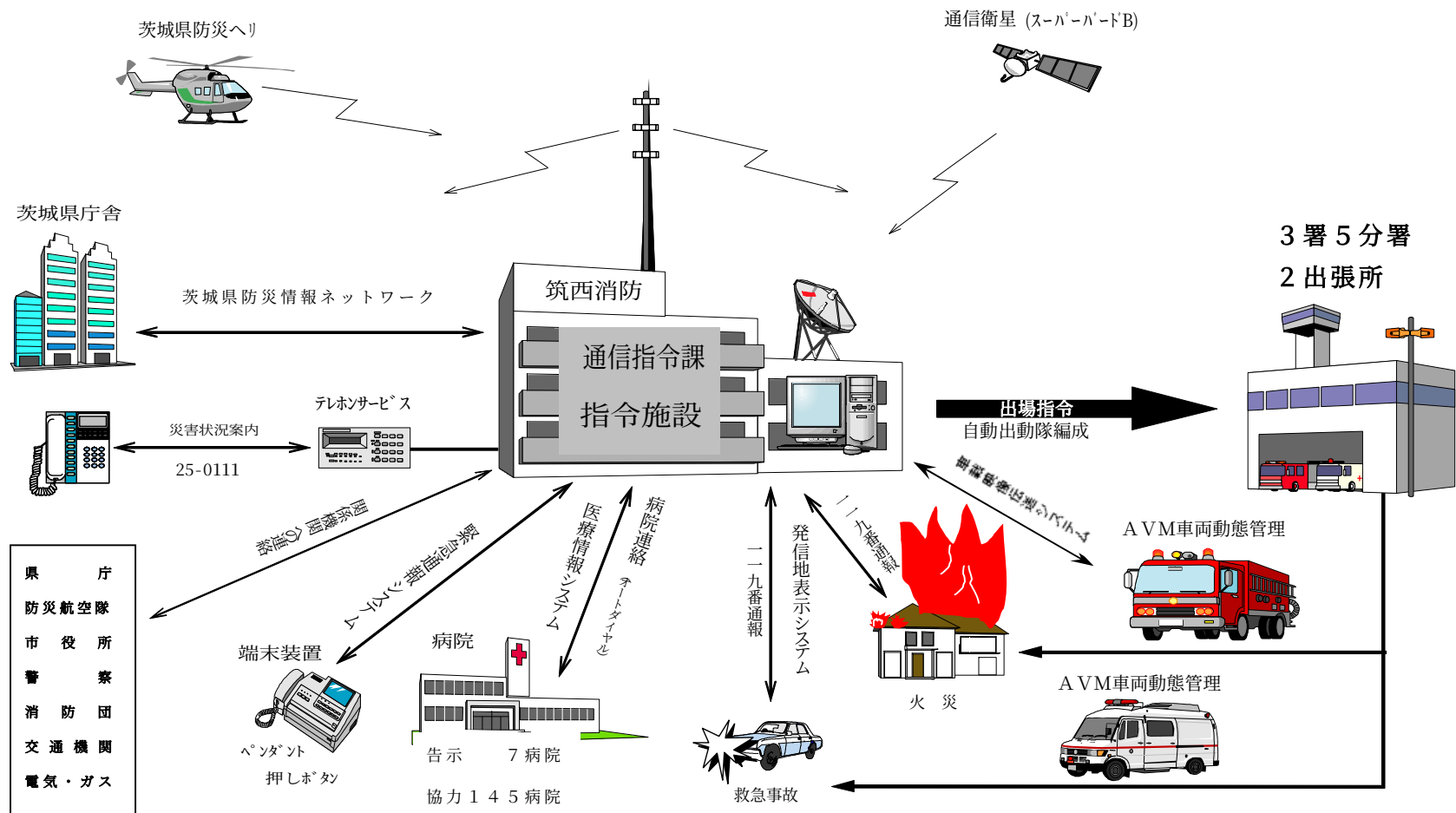
署別	call sign	救	市	県	全国123	出力	署別	call sign	救	市	県	全国123	出力
本部	ちくせいしき 1		○	○	○○○	10w	結城	ちくせいポンプ 2		○	○	○○○	10w
	ちくせいちょうさ 1		○	○	○○○	10w		ちくせいタンク 2		○	○		10w
	ちくせいタンク 9		○	○	○○○	10w		ちくせいかがく 2		○	○	○○○	10w
筑西	ちくせいポンプ 1		○	○	○○○	10w		ちくせいはしご 2		○	○	○○○	10w
	ちくせいタンク 1		○	○	○○○	10w		ちくせいきゅうじょ 2		○	○	○○○	10w
	ちくせいかがく 1		○	○	○○○	10w		ちくせいはんそう 2		○	○	○○○	10w
	ちくせいはしご 1		○	○	○○○	10w		ちくせいしれい 2		○	○	○○○	10w
	ちくせいきゅうじょ 1		○	○	○○○	10w		救 急 ちくせい 2	○	○	○	○○○	10w
	ちくせいしれい 1		○	○	○○○	10w	結城南	ちくせいタンク 2 2		○	○	○○○	10w
	ちくせいすいそう 1		○	○	○○○	10w		救 急 ちくせい 2 2	○	○	○	○○○	10w
	ちくせいはんそう 1		○	○	○○○	10w	桜川	ちくせいポンプ 3		○	○	○○○	10w
関城	救 急 ちくせい 1	○	○	○	○○○	10w		ちくせいタンク 3		○	○	○○○	10w
	ちくせいタンク 5		○	○	○○○	10w		ちくせいパトロール 3		○	○	○○○	10w
	ちくせいしれい 5		○	○	○○○	10w		ちくせいしれい 3		○	○	○○○	10w
明野	救 急 ちくせい 5	○	○	○	○○○	10w		救 急 ちくせい 3	○	○	○	○○○	10w
	ちくせいタンク 6		○	○	○○○	10w		救 急 ちくせい 3 3	○	○	○	○○○	10w
	ちくせいしれい 6		○	○	○○○	10w	真壁	ちくせいポンプ 4		○	○	○○○	10w
協和	救 急 ちくせい 6	○	○	○	○○○	10w		ちくせいタンク 4		○	○	○○○	10w
	ちくせいタンク 7		○	○	○○○	10w		ちくせいしれい 4		○	○	○○○	10w
	ちくせいしれい 7		○	○	○○○	10w		救 急 ちくせい 4	○	○	○	○○○	10w
川島	救 急 ちくせい 7	○	○	○	○○○	10w	大和	ちくせいタンク 8		○	○	○○○	10w
	ちくせいポンプ 1 1		○	○	○○○	10w		ちくせいしれい 8		○	○	○○○	10w
	救 急 ちくせい 1 1	○	○	○	○○○	10w		救 急 ちくせい 8	○	○	○	○○○	10w

市＝市波

救＝救急波

全国123＝全国共通波1波・2波・3波

通信指令系統図



市別指令件数

(平成22年度)

災害種別		指令件数	筑西市	結城市	桜川市	北関東高速道	県外
火 災	一 般 建 物	90	45	21	24		
	危 険 物						
	林 野	3	1	1	1		
	車 両	11	3	1	7		
	爆 発						
	そ の 他	99	57	15	27		
	小 計	203	106	38	59		
救 急	急 病	4,447	2,251	1,162	1,032	2	
	交 通	721	410	155	155		1
	火 災	7	2	2	3		
	水 難						
	労 働 災 害	72	33	19	20		
	運 動 競 技	25	14	9	2		
	一 般 負 傷	741	371	185	184	1	
	加 害	41	20	11	10		
	自 損 行 為	71	33	17	21		
	転 院 搬 送	801	326	228	247		
	医 師 搬 送	1	1				
	その他救急	33	19	7	7		
	P A 連 携	14	7	2	5		
	A A 連 携	40	17	14	9		
	R A 連 携	7	2	4	1		
	小 計	7,021	3,506	1,815	1,696	3	1
救急救助	交 通 事 故	124	59	37	21	7	
	水 難 事 故	5	3		2		
	機 械 事 故	6	4	2			
	建 物	1	1				
	ガス・酸欠	2	1		1		
	その他事故	12	7	2	3		
	小 計	150	75	41	27	7	
救 助	救 助	4	2	1	1		
	小 計	4	2	1	1		
その他	焚き火警戒	5	4		1		
	油 処 理	59	28	18	13		
	自火報発報	26	15	6	5		
	怪 煙	26	16	2	7	1	
	危険物漏洩	7	4		3		
	偵 察	170	95	28	47		
	事 後 聞 知	12	8	1	3		
	R P 支 援	13	1	4	8		
	その他災害	13	6	2	5		
	小 計	331	177	61	92	1	
	合 計	7,709	3,866	1,956	1,875	11	1

※ P A 連携＝ボンプ車・救急車、A A 連携＝救急車2隊、R A 連携＝工作車・救急車 同時出場

通報取消状況

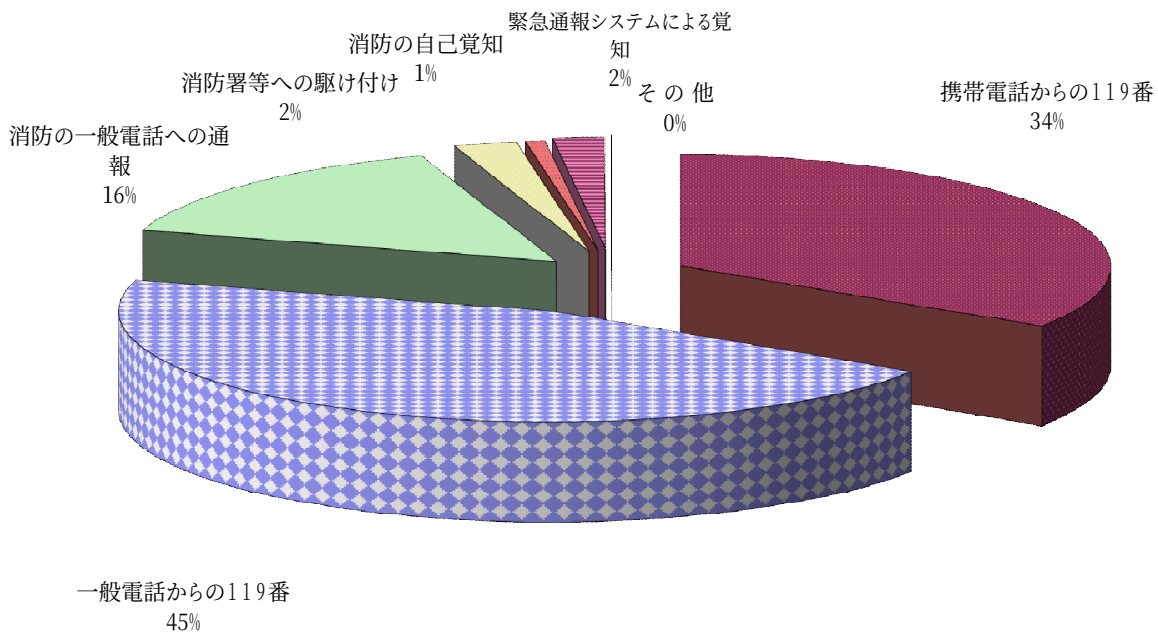
(平成22年度)

いたづら	誤 報	重 複	問い合わせ	119 テ ス ト	通 報 訓 練	合 計
72	663	79	3,299	101	941	6,142
緊 通 誤 報	キャンセル	指令課訓練				
20	111	856				

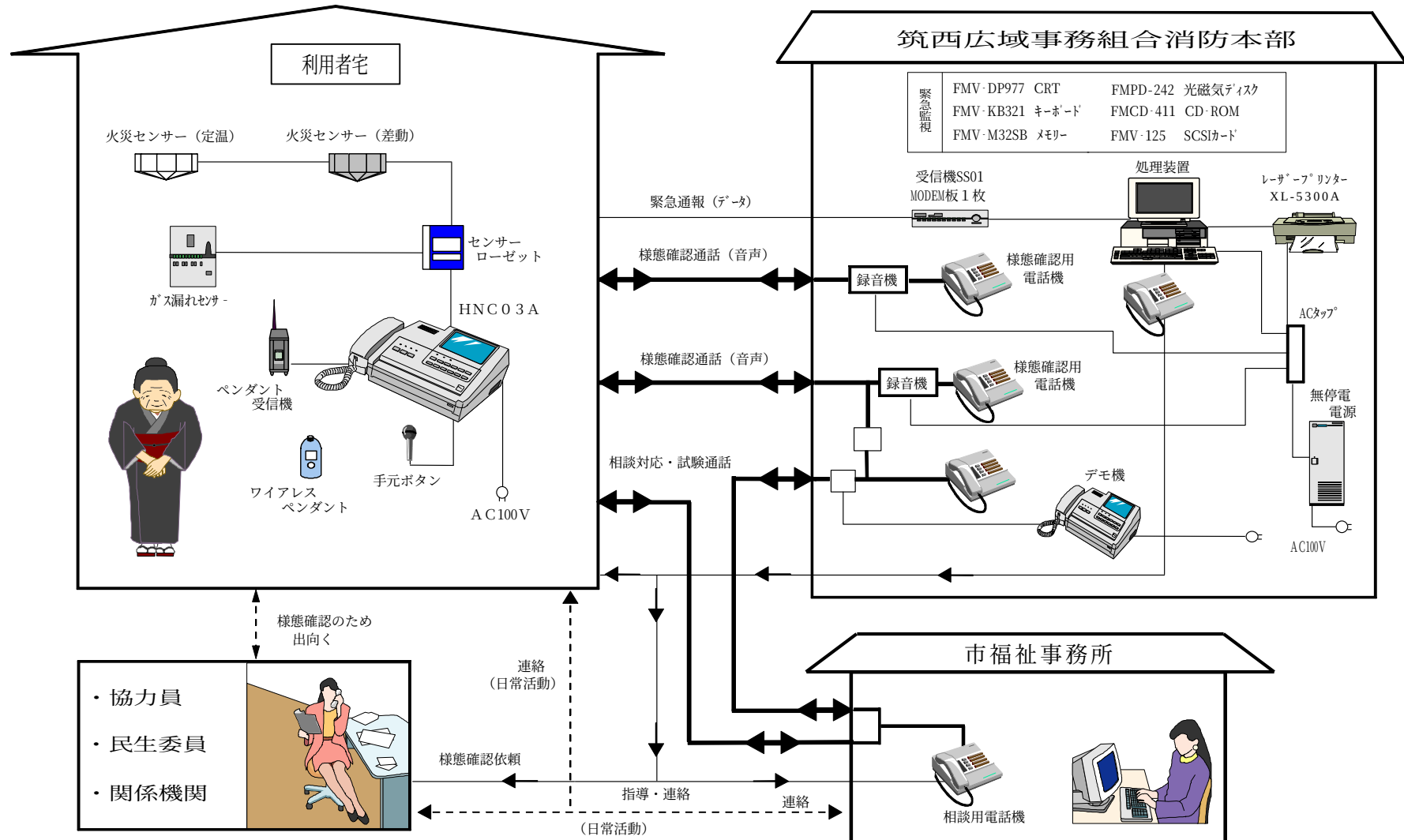
覚 知 別 指 令 件 数

(平成22年度)

災害種別 覚知別	火 災	救 急	救急救助	救助	その他	合 計	割 合
携帯電話からの119番	103	2,380	73	1	76	2,633	34%
一般電話からの119番	62	3,355	38	1	38	3,494	45%
消防の一般電話への通報	22	1,018	38	2	111	1,191	15%
消防署等への駆け付け	5	165			12	182	2%
消防の自己覚知	1	18	1		37	57	1%
緊急通報システムによる覚知	10	85			54	149	2%
そ の 他					3	3	0%
合 計	203	7,021	150	4	331	7,709	100%



緊急通報システム構成図



緊急通報システム利用状況

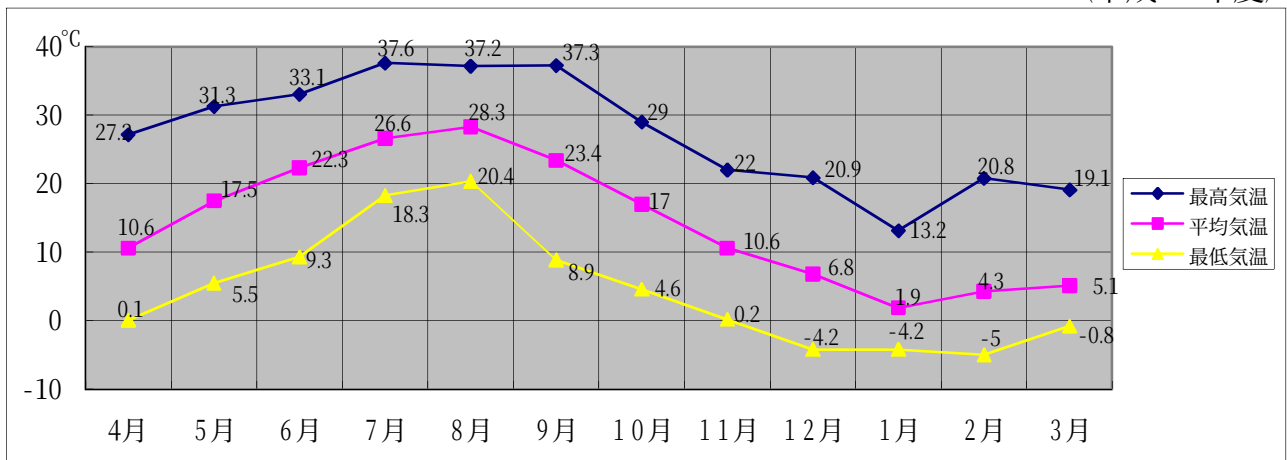
(平成22年度)

市 別 (設置件数)		筑西市 (544)	結城市 (480)	桜川市 (359)	合 計 (1383)
月 別					
4 月	緊急出場		4	4	8
	誤報	10	7	6	23
	現場確認出場	2		2	4
	その他相談等				
5 月	緊急出場	4	4	3	11
	誤報	6	19	12	37
	現場確認出場	2			2
	その他相談等		1		1
6 月	緊急出場	6	4		10
	誤報	20	22	22	64
	現場確認出場	3	1	1	5
	その他相談等		1		1
7 月	緊急出場	3	4	2	9
	誤報	34	28	31	93
	現場確認出場	5	1	7	13
	その他相談等	1	1	1	3
8 月	緊急出場	4	3	3	10
	誤報	24	28	12	64
	現場確認出場	5	1	4	10
	その他相談等		1		1
9 月	緊急出場	2	2	3	7
	誤報	13	9	17	39
	現場確認出場	2	1	1	4
	その他相談等	2		2	4
10月	緊急出場	6	2	2	10
	誤報	13	10	3	26
	現場確認出場				
	その他相談等		2	1	3
11月	緊急出場	3	5	6	14
	誤報	8	7	7	22
	現場確認出場		1	3	4
	その他相談等	3	3	5	11
12月	緊急出場	4	4	2	10
	誤報	8	7	14	29
	現場確認出場	2	1		3
	その他相談等		3	11	14
1 月	緊急出場		4	3	7
	誤報	7	9	11	27
	現場確認出場			1	1
	その他相談等		6	10	16
2 月	緊急出場	3	1	7	11
	誤報	5	9	3	17
	現場確認出場				
	その他相談等			2	2
3 月	緊急出場	4	1	4	9
	誤報	11	20	12	43
	現場確認出場				
	その他相談等				
合 計	緊急出場	39	38	39	116
	誤報	159	175	150	484
	現場確認出場	21	6	19	46
	その他相談等	6	18	32	56

気 象

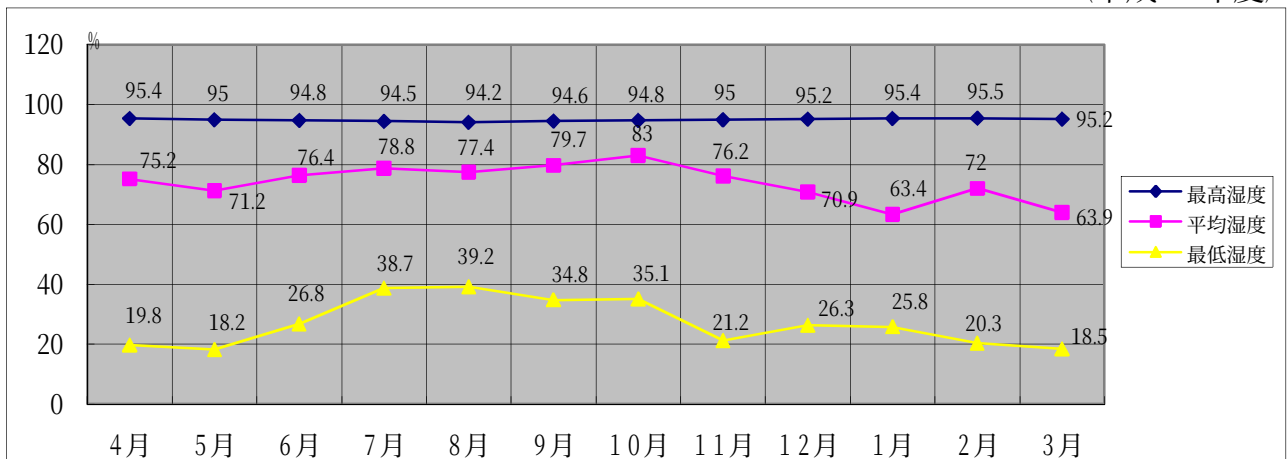
気 温

(平成22年度)



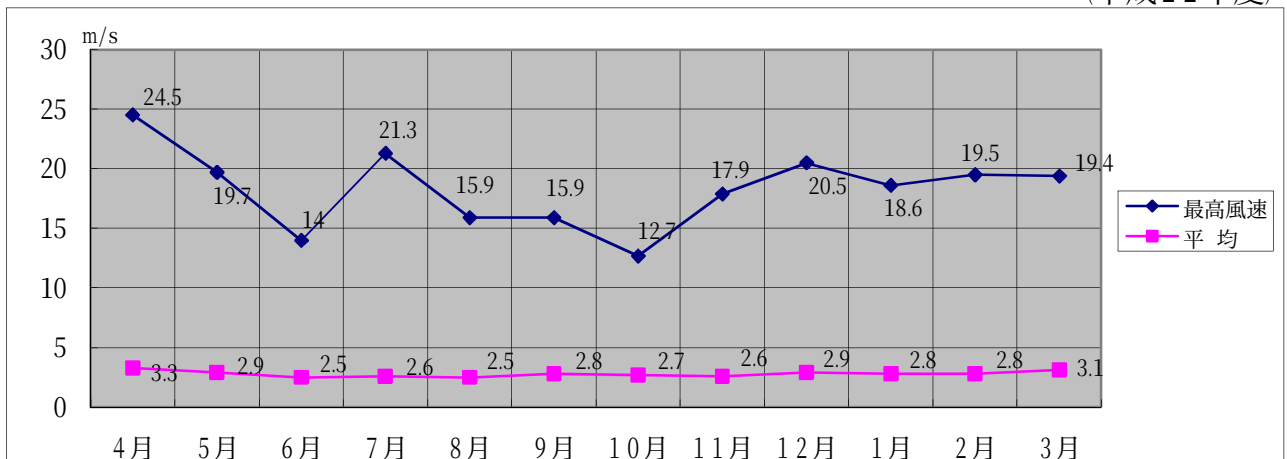
湿 度

(平成22年度)



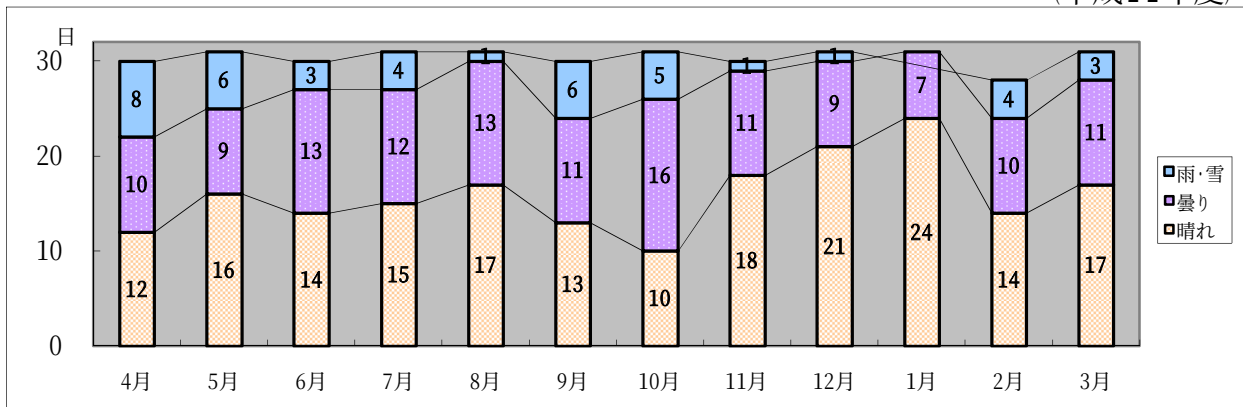
風 速

(平成22年度)



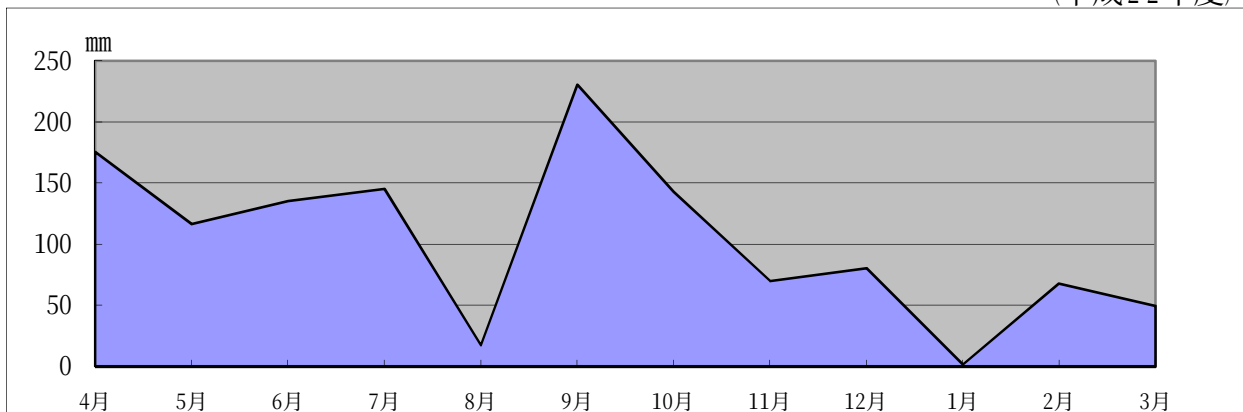
天 気 日 数

(平成22年度)



降 水 量

(平成22年度)



気象情報発表状況

(平成22年度)

月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
警 報	大雨				2	1	2	1						6
	洪水				2	1	1	1						5
	暴風													
	計				4	2	3	2						11
注 意 報	強風	4	3	1		1	2	1	1	4	2	4	5	28
	大雨	1	3	9	12	4	8	3	1	2				43
	洪水	1	1	9	12	2	7	2	1	2				37
	乾燥									2	2		5	9
	濃霧	5	4	10	13	9	7	4	7	1		5	2	67
	霜	10						1	16				1	28
	雷	2	7	10	20	21	7	8	4	3		3	3	88
	低温										15	4	5	24
	大雪												2	2
	着雪												2	2
	計	23	18	39	57	37	31	19	30	14	19	16	25	328

消 防 団 関 係

市別階級別人員

(平成23年4月1日現在)

階級 市別	計	団長	副団長	本部員	分団長	副分団長	部長	班長	団員	車両
筑西市	839(17)	1	6	18	44(1)	44(1)	44(1)	132(3)	550(11)	44
結城市	281(10)	1	3	6	11(1)	11(1)	0	38(2)	211(6)	13
桜川市	564(14)	1	5	10	37(1)	37(1)	37(1)	74(2)	363(9)	38
合計	1684(41)	3	14	34	92(3)	92(3)	81(2)	244(7)	1124(26)	95

※()内は女性消防団

市別在職年数団員

(平成23年4月1日現在)

在職 年数 市別	計	5年 未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上 25年未満	25年以上 30年未満	30年以上
筑西市	839(17)	328(17)	223	120	70	39	27	32
結城市	281(10)	178(10)	50	27	15	4	1	6
桜川市	564(14)	196(14)	147	130	63	21	5	2
合計	1684(41)	702(41)	420	277	148	64	33	40

※()内は女性消防団

市別消防団員年齢

(平成23年4月1日)

年齢 市別	計	20 未 満	20 ～ 25	26 ～ 30	31 ～ 35	36 ～ 40	41 ～ 45	46 ～ 50	51 ～ 55	56 ～ 60	61 以 上	平均 年齢
筑西市	839(17)	0	22(1)	77(3)	191(1)	235(5)	142(4)	78(3)	47	30	17	39.3(37.3)
結城市	281(10)	0	2(1)	20(2)	69(2)	102	56(3)	18(1)	10(1)	1	3	38.3(36.9)
桜川市	564(14)	0	23(1)	89(1)	179(2)	150(3)	87(1)	21(3)	10(3)	4	1	35.88(40.85)
合 計	1684(41)	0	47(3)	186(6)	439(5)	487(8)	285(8)	117(7)	67(4)	35	21	37.83(38.35)

※()内は女性消防団

消防団員階級別年齢状況

(平成23年4月1日)

階級 年齢	計	団長	副団長	本部員	分団長	副分団長	部長	班長	団員
20歳未満									
20～25	47(3)								47(3)
26～30	186(6)						1	11(1)	174(5)
31～35	439(5)				6(1)	6	8	43	376(4)
36～40	487(8)			3	26	33	24	83(1)	318(7)
41～45	285(8)			5	26	25(2)	26	69(4)	134(2)
46～50	117(7)			5	14	15(1)	11(2)	20(1)	52(3)
51～55	67(4)		5	7	12(2)	8	7	11	17(2)
56～60	35	1	2	10	6	4	2	5	5
60歳以上	21	2	7	4	2	1	2	2	1
合 計	1684(41)	3	14	34	92(3)	92(3)	81(2)	244(7)	1124(26)

※()内は女性消防団

消 防 本 部 ・ 署 (分 署) 所 在 地

署 ・ 所 名	所 在 地	電 話 番 号
消 防 本 部	〒308-0803 筑西市直井 1076 番地	(代 表) 0296-20-0119 総 務 課 0296-24-4552 警 防 課 0296-24-4104 予 防 課 0296-24-4589 通 信 指 令 課 0296-20-0188 テレホンサービス 0296-25-0111 F A X 0296-24-5444
筑西消防署		0296-24-4504
筑西消防署 関城分署	〒308-0129 筑西市上野 1045 番地 1	0296-37-2444 F A X 0296-37-6144
筑西消防署 明野分署	〒300-4515 筑西市倉持 1123 番地 1	0296-52-1581 F A X 0296-52-2789
筑西消防署 協和分署	〒309-1107 筑西市門井 1976 番地 1	0296-57-3479 F A X 0296-57-4444
筑西消防署 川島出張所	〒308-0855 筑西市下川島 771 番地 1	0296-28-0119
結城消防署	〒307-0004 結城市みどり町二丁目 3 番地	0296-32-5145 F A X 0296-32-7667
結城消防署 結城南出張所	〒307-0031 結城市大字大木 1138 番地	0296-35-0930
桜川消防署	〒309-1213 桜川市西桜川二丁目 29 番地	0296-75-3592 F A X 0296-76-1206
桜川消防署 真壁分署	〒300-4406 桜川市真壁町山尾 793 番地	0296-55-2403 F A X 0296-54-0758
桜川消防署 大和分署	〒309-1242 桜川市羽田 1000 番地	0296-58-6851 F A X 0296-58-6852

平成 2 3 年度全国統一防火標語

『消したはず 決めつけしないで もう一度』

平成 2 3 年 7 月刊行

発	行	筑西広域市町村圏事務組合消防本部
編	集	筑西広域消防広報委員会
電	話	0 2 9 6 - 2 0 - 0 1 1 9 (代)